

和泊町公共施設等個別施設計画



平成 30 年 3 月

平成 31 年 3 月 第1回改訂
令和 2 年 3 月 第2回改訂



目次

| | |
|--------------------------|----|
| 第1章 計画の概要 | 1 |
| 第1節 背景・目的 | 1 |
| 第2節 計画の位置づけ | 2 |
| 第3節 計画期間 | 3 |
| 第4節 対象施設 | 4 |
| 第2章 優先度の判定 | 5 |
| 第1節 優先順位の判定フロー | 5 |
| 第2節 一次評価（劣化度） | 6 |
| 第3節 二次評価（施設の有効利用度） | 7 |
| 第4節 総合評価 | 8 |
| 第3章 個別施設の方針案の設定 | 9 |
| 第1節 基本的な方針 | 9 |
| 第2節 個別施設の方針案 | 12 |
| 第4章 対策内容と実施時期 | 34 |
| 第1節 今後対策が必要になる施設 | 34 |
| 第5章 対策費用シミュレーション | 35 |
| 第1節 シミュレーション方法 | 35 |
| 第2節 耐用年数・建設単価の設定 | 35 |
| 第3節 予防保全費用試算結果 | 38 |
| 第6章 今後のフォローアップ | 39 |
| 第1節 総合管理計画の進捗管理 | 39 |

第1章 計画の概要

第1節 背景・目的

日本は、高度経済成長期に急激な人口増加と社会変化を受け、公共施設の整備が進められてきました。その当時から建設された公共施設の建築年数は現在 30 年以上を経過し、老朽化による大規模改修や修繕、建替えが急務となっています。加えて、高速道路のトンネルの天井板崩落事故をはじめとする老朽化問題が各地で報告されており、老朽化対策が大きな社会問題ともなっています。一方、近年の日本経済は低迷しており、財政の危機的な状況が続いています。また、高齢化社会に伴う社会保障費の増加や生産年齢人口の減少に伴う税収の減少等が推測され、依然厳しい財政状況が続くと思われまます。

本町においてもその例外ではなく、老朽化した施設が数多く存在しています。これらを維持管理していくためにかかる毎年の経費や、老朽化に伴い必要となる建替えや改修の経費は、今後の町の財政にとって、かなり大きな負担となることが予想されます。また、少子高齢化の進行といった社会環境の変化も視野に入れつつ、施設の統廃合や機能転換なども含め、公共施設の適正配置と有効活用について、早急に検討を進めることが求められています。

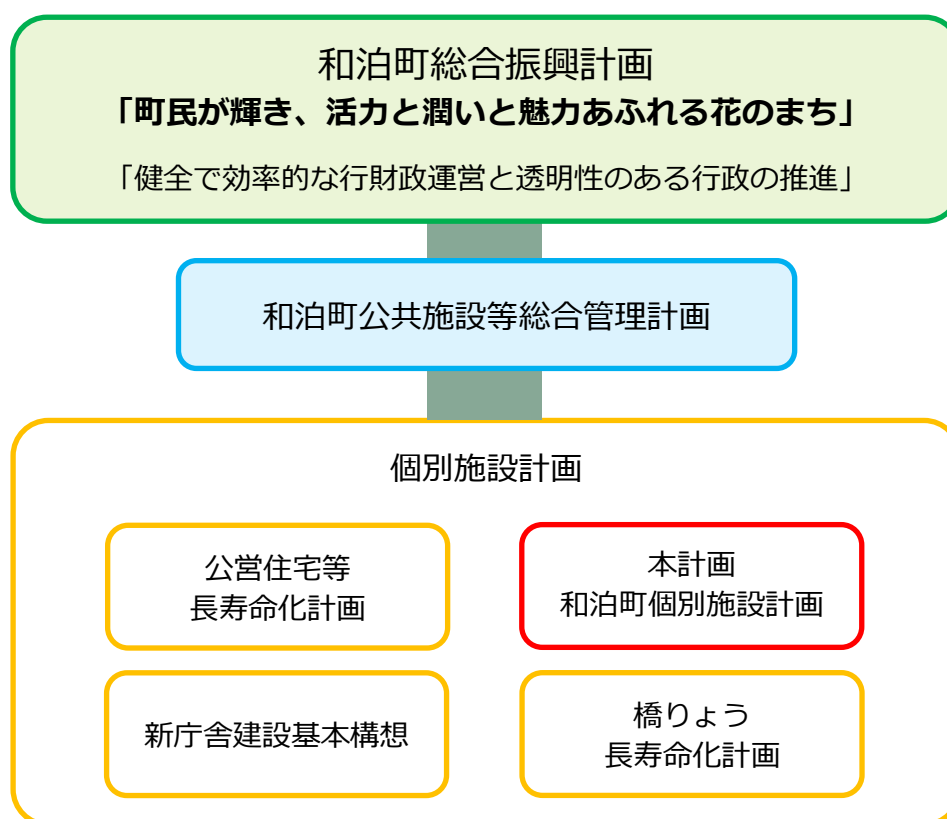
そこで本町では、平成 27 年度に「和泊町公共施設白書」を策定し、和泊町が保有する（インフラ施設以外の）公共施設の基本情報（建築年度、延床面積、構造等）について把握を行い、これまで整備してきた資産を明らかにしました。また、平成 28 年度には「和泊町公共施設等総合管理計画」を策定し、今後、財政的な負担となる更新費用を推計し、持続可能な財政運営ができるよう、公共施設等の総合的な管理に関する基本的な方針として、「適正かつ柔軟な施設マネジメント」を行っていくことを定め、今後 10 年間の目標及び実施方針を定めました。

本計画は、施設の重要度及び劣化度に応じて各施設の今後の方針を定め、優先的に整備する施設等の判断を行うことで、総量適正化につなげるとともに、計画的な保全により、維持管理コストを低減していくことで、公共施設にかかる財政負担を軽減し、持続可能な財政運営につなげることを目的としています。本計画は、事業の進捗状況等に応じて、計画期間中においても随時見直しを行うものとしており、平成 29 年度に第一版を策定後、平成 30 年度、令和元年度に改訂を行いました。

第2節 計画の位置づけ

本町では、「町民が輝き、活力と潤いと魅力あふれる花のまち」という将来像に向けて、「和泊町総合振興計画」において、「健全で効率的な行財政運営と透明性のある行政の推進」に向けて、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進していくことを方針のひとつとして掲げています。

本計画は、平成28年度に策定した「和泊町公共施設等総合管理計画」において定めた公共施設等の総合的な管理に関する基本方針を実現するための計画であり、各施設の今後の方針を定めるものです。類似する計画として、公営住宅等の長寿命化方針について定めた、公営住宅等長寿命化計画、橋りょう長寿命化計画等が挙げられます。本計画では、建物系公共施設のうち、別途計画を策定している公営住宅等、学校施設以外の施設についてとりまとめます。



第3節 計画期間

本計画期間は、平成30年度から令和9年度までの10年間とし、計画内容は社会情勢の変化や事業の進捗状況等に応じて、計画期間中においても見直しを行うものとします。計画をより実行性のあるものにするため、計画期間を前期後期に分けて推進し、前期の進捗を見ながら、後期の取り組みを再構成するものとします。

■ 各計画の計画期間 ■

| | H29 | H30 | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 |
|---------------|---|-----|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 総合振興計画 | 第5次振興計画 | | 第6次振興計画 | | | | | | | | |
| 公共施設等総合管理計画 | 公共施設等の管理に関する基本方針「適正かつ柔軟な施設マネジメント」 ：40年間で建物系公共施設の面積を30%削減 | | | | | | | | | | |
| 個別施設計画 | 前期 | | | | | 後期 | | | | | |
| 公営住宅等長寿命化計画 | H29～R8 | | | | | | | | | | |
| 学校施設長寿命化計画 | R2～R11 | | | | | | | | | | |
| 新水道ビジョン及び経営戦略 | R2～R11 | | | | | | | | | | |

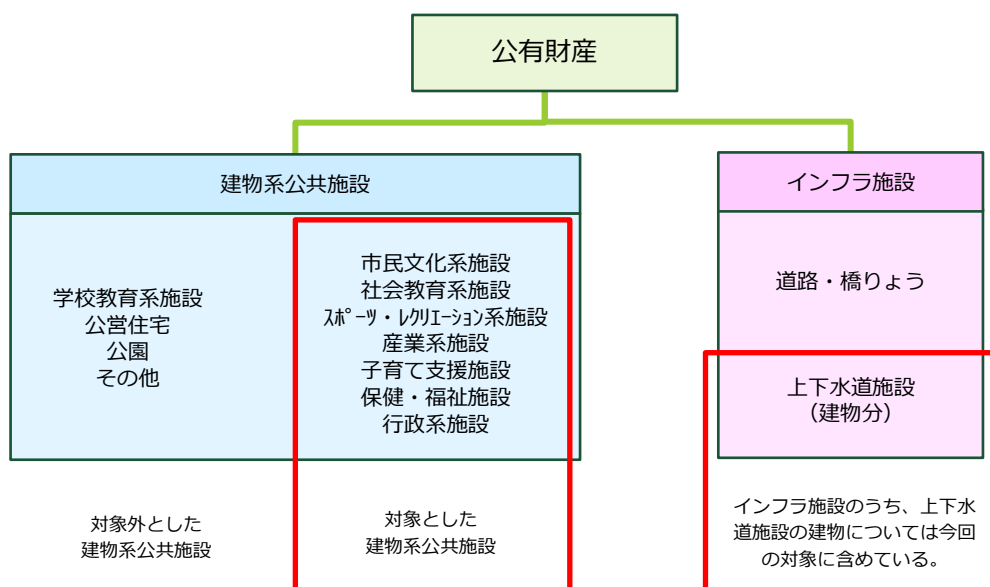
第4節 対象施設

本計画の対象施設は、本町の所有する公共施設のうち、「建物」を対象とし今後の方針を定めるものとします。

施設の分類は、「公共施設等総合管理計画」と同様の分類で整理するものとします。

その中で、別途計画を定め「学校教育系施設」、「公営住宅」に分類される施設については本計画の対象外としています。また、「公園」、「その他」に分類されているものは、便所や倉庫等小規模なものがほとんどであるため、対象外としていましたが、一部対象施設に追加しています。

【対象施設】対象施設：83 施設



第2章 優先度の判定

第1節 優先順位の判定フロー

以下のフローで対象施設の保全の優先度や方向性について整理するものとします。本計画では、施設の劣化度や有効利用度等をもとに、一次判定、二次判定、総合評価を行い、施設ごとの今後の個別方針（案）を設定します。その後、住民や議会等と合意形成を得て方針決定を行い、予算確保、実施と進めていきます。



第2節 一次評価（劣化度）

建物の部位別老朽化度(現地調査による)、経過年数、耐震性から、建物の劣化状況を点数化し、劣化度をⅠ～Ⅳの4段階にランク分けを行います。平成29年度に各施設担当職員により以下の調査表を用いて調査を実施しました。なお、令和2年度にも調査を行い、その後も3～5年の周期で定期的に調査点検を行い、不具合・危険箇所の早期発見に努め、予防保全につなげるものとします。

(調査票)

| 調査日 | | 記入者 | | 健全度 | 0 / 100点 | |
|------------|---|-----------------|--|-----|----------|-----|
| 部位 | 仕様 (該当する項目にチェック) | 工事履歴 (年度,内容) | 劣化状況 | 箇所数 | 特記事項 | 評価 |
| 1 屋根 屋上 | <input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 | | <input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある | | | A ▼ |
| | <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 | | <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 | | <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> 勾配屋根（長尺金属板、折板） | | <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> 勾配屋根（スレート、瓦類） | | <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他の屋根 | | <input type="checkbox"/> 樋やルーフトレンを目視点検できない | | | |
| | 最終工事年度 | | <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある | | | |
| | | | | | | |
| 2 外壁 | <input type="checkbox"/> 塗仕上げ | | <input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある | | | A ▼ |
| | <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り | | <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> 金属系パネル | | <input type="checkbox"/> 塗膜の剥がれ | | | |
| | <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル（ALC等） | | <input type="checkbox"/> タイルや石が割れている | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他の外壁 | | <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> アルミ製サッシ | | <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ | | <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある | | | |
| | <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス | | <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐食 | | | |
| | 最終工事年度 | | <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある | | | |
| | | | | | | |
| 部位 | 修繕・点検項目 | 改修年度 | 特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項) | | 評価 | |
| 3 内部仕上 | <input type="checkbox"/> 老朽改修 | | | | A ▼ | |
| | <input type="checkbox"/> エコ改修 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 法令適合 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 空調設置 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 防犯対策 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他、内部改修工事 | | | | | |
| 4 電気設備 | <input type="checkbox"/> 分電盤改修 | | | | A ▼ | |
| | <input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事 | | | | | |
| 5 機械設備 | <input type="checkbox"/> 給水配管改修 | | | | A ▼ | |
| | <input type="checkbox"/> 排水配管改修 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> 消防設備の点検 | | | | | |
| | <input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事 | | | | | |
| 全体 特記事項 | | | | | | |

各施設の劣化度の分類結果は、巻末 施設劣化度分類結果 参照。

第3節 二次評価（施設の有効利用度）

施設の重要度、稼働率により、施設の有効度を以下のようにA、B、Cの3段階に分類します。

施設の重要度については、目的、利用対象、ニーズ、類似機能の存在、防災上の必要性等から総合的に判断しました。

| | | | | |
|--------|---|----------|-----------|-------|
| 施設の重要度 | 高 | | | A |
| | 中 | | B | |
| | 低 | C | | |
| | | 0%～30%未満 | 30%～70%未満 | 70%以上 |
| | | (低) | 稼働率 | (高) |

稼働率については、施設分類ごとに以下の通り分類しました。

| 分類名 | 稼働率 |
|------------------|-----------------------|
| 市民文化系施設 | 運営日数に対する稼働日数 |
| 社会教育系施設 | 運営日数に対する来館者あり日数 |
| スポーツ・レクリエーション系施設 | 運営日数に対する稼働日数 |
| 産業系施設 | 処理量、生産量、利用日数、プロジェクト数等 |
| 子育て支援施設 | 定員に対する利用者数 |
| 保健・福祉施設 | 運営日数に対する稼働日数 |
| 行政系施設 | 運営日数に対する稼働日数 |
| 上下水道施設 | 処理量 |

有効利用度の分類結果は、**巻末 有効利用度分類結果** 参照。

第4節 総合評価

施設の劣化度、有効利用度により、以下の通り分類し、大枠の方向性を設定するものとします。劣化度が高いⅢ、Ⅳのランクの施設については、早急に対策が必要になるものもあるため、今後10年間の計画期間の中で具体的に実施していく行動について方針案を設定します。

| | | | | |
|---------------------|----------|--|--|--|
| (高) 施設の 有効利用度 | A | 【4】複合化・統廃合（集約） 現状維持 | | 【1】 建替え・長寿命化 機能集約・複合化 全体の面積が縮小 されるよう検討。 |
| | B | サービスを継続しながら 全体の面積が縮小されるよう 他機能を取り込んでいく。 | 【2】機能移転（出）・長寿命化 必要なサービスは継続しながら 他施設への機能移転（出）。 長寿命化とする場合は、稼働年数60年 を目標とした大規模改修を行う。 建替えとするしかない場合は、必ず全体 の面積が縮小される方法で実施する。 | |
| | (低) C | 【5】民営化・売却・用途変更 現在提供しているサービスは廃止 の方向で検討を進める。 建物は有効活用する。 | | 【3】取り壊し・除却 サービスを廃止する。 大規模改修等は行わず、利用期間中は最 低限の修繕工事のみ行う。 |
| | I | II | III | IV |
| | (低) ← | | 施設の劣化度 | ⇒ (高) |

劣化度がⅢ、Ⅳのものは
早急に対応方針の決定。

各施設の方向性の分類結果は、**巻末 総合評価結果** 参照。

第3章 個別施設の方針案の設定

第1節 基本的な方針

公共施設等総合管理計画において設定した基本方針に沿って、各施設の個別方針案を設定するものとします。

基本方針：適正かつ柔軟な施設マネジメント

基本目標：① 今後40年間で公共施設の総延床面積を約30%削減

② 公共施設の利活用推進

| 総合管理計画における実施方針 | |
|--------------------|--|
| 点検・診断等 | 公共施設等は、利用状況、自然環境等に応じ、劣化や損傷の進行は施設毎に異なります。各施設の特性を考慮した上で、定期的な点検・診断により施設の状態を正確に把握します。全対象施設において点検・診断を実施し、その結果に基づき、必要な対策を適切な時期に、着実かつ効率的・効果的に実施するとともに、これらの取組を通じて得られた施設の状態や対策履歴等の情報を記録し、次の点検・診断等に活用していきます。 |
| 維持管理・修繕・更新等 | 施設の重要度や劣化状況に応じて長期的な視点で優先度をつけて、計画的に修繕・更新します。今後、社会経済情勢の変化に応じた質的向上や機能付加、用途変更や複合化・集約化を図ります。 |
| 安全確保 | 災害拠点かどうか、多数の町民の利用がある施設かどうかなどの視点から、対応の優先度を検討します。点検・診断等により危険性が認められた施設については、立入禁止等の安全措置を実施し、利用者の安全確保を図ります。 |
| 耐震化 | 災害拠点かどうか、多数の町民の利用がある施設かどうかなどの視点から、耐震化の優先順位を検討します。道路、橋りょう、上下水道をはじめとするインフラについても耐震化の検討を進めていきます。 |
| PPP/PFI 活用 | PPP/PFI など、民間活力を活用し、機能を維持・向上させつつ、修繕・更新コスト及び管理運営コストを縮減します。 |
| 長寿命化 | 点検・診断等の実施方針により施設の健全度を把握し、予防的な修繕等の実施を徹底することにより事業費の大規模化及び高コスト化を回避し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。 |
| 統合・廃止 | 利用状況調査等にて必要性が認められない施設については、必要に応じて議会や住民アンケート等による町民との調整を十分整えた上で、廃止・撤去を実施します。集会室や会議室などの類似した施設に関しては、総合的にとらえ、改築などの際には施設の集約化による機能統合を検討します。 |
| 広域的な連携 | 清掃施設・火葬場については、沖永良部衛生管理組合により、隣接する知名町と共同でサービス提供・施設の維持管理を行っています。消防施設については、沖永良部与論地区広域事務組合により、知名町・与論町と広域的な連携を行い、業務の効率化を図ってきました。近隣団体と共同で提供できるサービス等について、積極的に統合を進めていきます。 |
| ユニバーサルデザイン | 公共施設等の更新を行う際には、住民ニーズ、各種法令、ユニバーサルデザインの街づくりの考え方を踏まえ、誰もが安全・安心で快適に利用できるようバリアフリー化を推進していきます。 |
| フォローアップ | 本計画における基本方針・実施方針、個別施設計画における実施計画について、毎年進捗管理を行います。個別施設計画での策定内容も随時反映し、見直しを行っていきます。 |
| 行政サービスの水準等 | コスト削減や面積削減により、住民サービスの低下を招かないよう、サービス利用者等の意見も取り入れながら、サービスの向上を図っていきます。 |

公共施設等総合管理計画で設定した施設分類ごとの方針は以下の通りです。

| 分類名 | 総合管理計画における今後の管理方針 |
|-------------------------|---|
| 市民文化系施設 | <p>劣化が進行しているもので今後も継続利用が必要なものについては、安全性について判断の上、改修等を検討します。</p> <p>字公民館については、大規模改修を実施した施設や比較的新しい施設については、定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努めます。劣化が進行している施設については、予防保全を進めていくため、必要な時期に改修等を検討します。</p> |
| 社会教育系施設 | <p>住民によく利用されている施設であるが、運営事務の効率化等も含めて、社会教育施設等の今後の在り方に関しては、総合的な検討協議を行った上で今後の整備の必要性を検討します。</p> |
| スポーツ・レクリエーション系施設 | <p>住民によく利用されている施設であるが、それぞれのスポーツの競技人口等を調査し、今後の整備の必要性を検討します。平成 28 年度に取り壊しを行った町民体育館についても検討を行います。町民運動広場のトイレについては、利用者が多いため、便器の洋式化やユニバーサルデザイン化を行います。</p> |
| 産業系施設 | <p>今後も必要な施設かどうか、将来の利用方針を明確に決定し、統合できるものは、集約化を進めます。貸付施設や、利用者が限られるような専用施設については利用者との協議の上譲渡を進めます。利用度が低い施設は、将来的に廃止の方向で検討し、大規模改修は実施しませんが、利用者に危険がないように修繕対応は行うものとします。比較的新しい施設も、現在の機能は早急に廃止等の決定を行い、用途変更して利活用する方向で検討します。</p> |
| 子育て支援施設 | <p>子育て支援施設は、4 施設とも同時期に建設されており、老朽化の程度も同程度です。利用者（園児）は減少傾向ですが、0～1 歳の低年齢児の入所希望が増えており、保育士有資格者の確保等の課題もあるため、今後の人口の推移によっては統合集約及び改修を検討します。</p> |
| 保健・福祉施設 | <p>多目的ホールは、字の公民館等他施設のスペースを利用できるので、今後新規整備は行わないものとします。</p> <p>まだ新しい施設については、今後も高齢者の介護予防等の施設として運用をしながら、他機能の受け入れ等、利用の幅を広げて有効利用していくものとします。</p> |

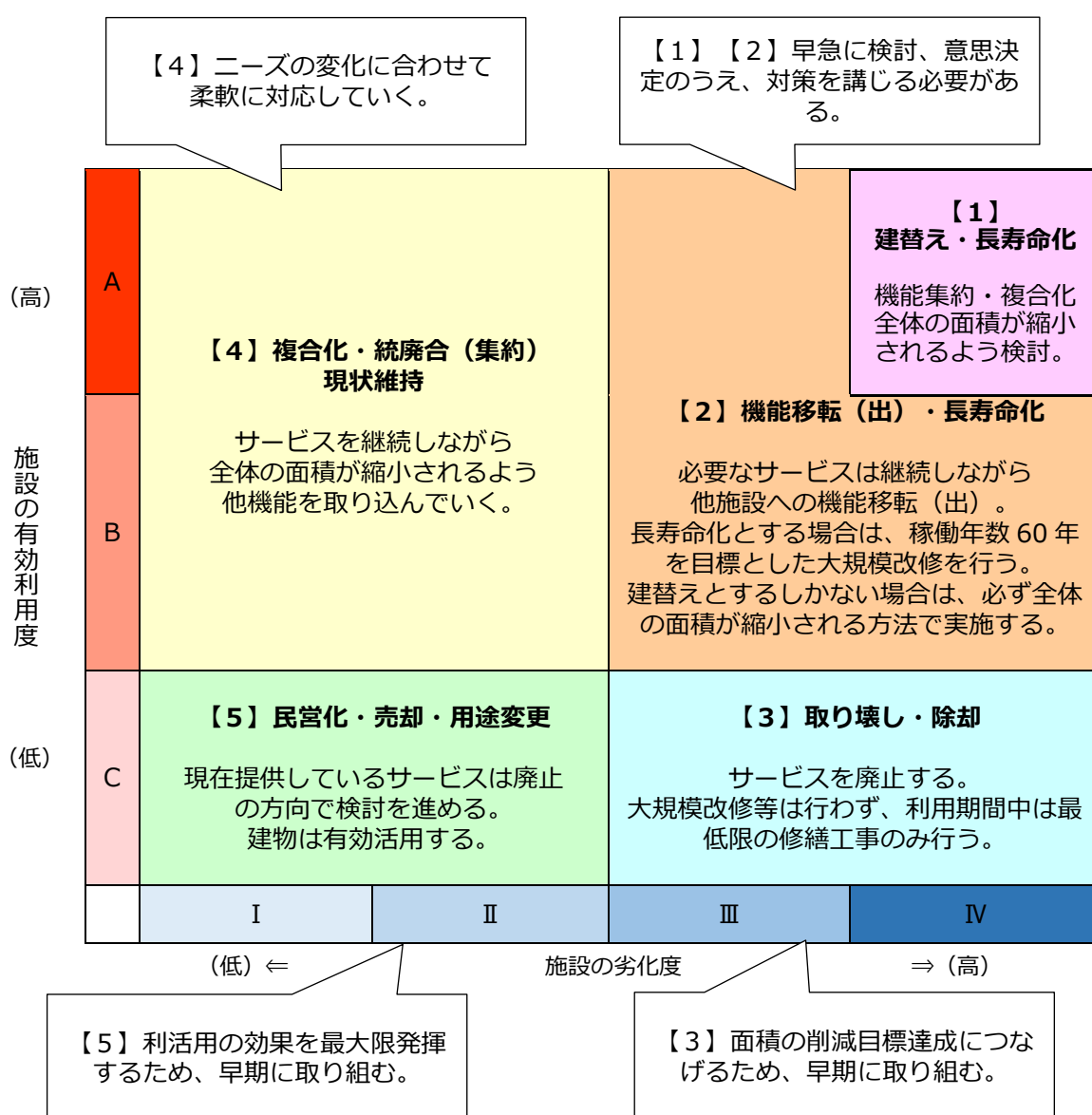
| 分類名 | 総合管理計画における今後の管理方針 |
|--------|--|
| 行政系施設 | <p>定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努めます。各消防団の分団車庫は、町の安全を維持するために必要な施設であり、統廃合は行わないものとします。</p> |
| 公園・その他 | <p>遊具等の老朽化がみられる施設があるので、定期的な点検の徹底を行います。公衆トイレについては、和式便器となっているものや出入口の段差など様々な方の利用が困難な状況となっているものは、利用状況等に応じて便器の洋式化やユニバーサルデザイン化を行います。</p> <p>しま暮らし体験住宅については、町外からの移住希望者が、和泊町において定住地探しをするための重要な施設となっているため、快適な施設利用に支障をきたすと思われるときは、改修等を検討します。</p> <p>風力発電施設については、今後も定期点検を実施し、多額の修繕費用等が発生しないよう、予防保全に努めます。</p> <p>旧白百合土地改良区事務所については、現在廃止中であるが、必要な改修工事等を行い、他機能の受け入れ等、利用の幅を広げて有効利用していくものとします。</p> |
| 上下水道施設 | <p>水道水を安定して供給するためにも、今後の人口動向や施設の更新費用を考慮しながら水道利用料金設定を十分に検討します。</p> <p>下水道施設や管路の適切な維持管理を図り、長寿命化を行い、施設にかかる維持管理コストの縮減に努めます。</p> |

第2節 個別施設の方針案

第2章で設定した「優先順位の評価」、及び第1節で確認した「公共施設等総合管理計画における基本方針」をもとに、個別施設の方針案を設定するものとします。

【1】【2】【3】の分類に該当する施設は老朽化が進行しており早急に今後の対応を要するものであるため、明確な方針・計画を定めます。ただし、**基本目標①床面積の削減**に向けて、基本的に新築は行わず、長寿命化、機能移転等により、面積削減につながるような検討を第一に行います。

【4】は基本的に現状維持しながら他機能の受入れが主な検討内容となるため、計画期間内に特記すべき動きがある場合に方針を記載します。【5】については、**基本目標②の利活用推進**につなげるため、計画期間内に可能な限り廃止の意思決定を行い、利活用の効果を最大限発揮します。



(1) 市民文化系施設 (23 施設)

◆評価結果

| | I | II | III | IV |
|---|------------------|--------------|-------------|----|
| B | 喜美留字公民館 | 和字公民館 | 和泊町研修センター | |
| | 出花字コミュニティセンター | 和泊町伊延公民館 | 国頭研修会館 | |
| | 皆川字公民館 | 和泊町畦布生活館 | 和泊町谷山生活館 | |
| | 和泊町防災拠点施設「やすらぎ館」 | 西原字公民館 | 中央公民館（旧議会棟） | |
| | えらぶ長浜館 | 根折字公民館 | | |
| | | 和泊町玉城生活館 | | |
| | | 大城研修会館 | | |
| | | 和泊町古里生活館 | | |
| | | 内城集落農事集会施設 | | |
| | | 和泊町瀬名多目的集会施設 | | |
| | | 永嶺コミュニティセンター | | |
| | | 仁志生活改善センター | | |
| | | 後蘭コミュニティセンター | | |
| | | 和泊町子どもと老人の家 | | |

◆方向性

有効利用度は同程度のため劣化度が高いもので今後も継続利用が必要なものについては、安全性について判断の上、改修等を検討します。

字公民館については、大規模改修を実施した施設や比較的新しい施設については、定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努めます。劣化が進行している施設については、予防保全を進めていくため、必要な時期に改修等を検討します。

| 施設名称 | | 今後の方針 | 説明 |
|--------------|--------|----------------------------|---|
| 中央 公民館 | 旧議会棟 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 築 40 年が経過しており、建物に一部爆裂が見られる。 ・ 平成 23 年度に改修工事（屋上防水、外壁、内装、トイレ）を実施している。 ・ 平成 28 年度に耐震診断を実施し、耐震性は有と判断されている。 ・ 中央公民館解体に伴い、機能移転すべく平成 31 年 4 月までに一部改修工事が終わり、令和元年 11 月には大ホール（まなびいほーる）が完成し、全面改修が終了した。 |
| | 旧中央公民館 | 機能移転及び取壊し | <ul style="list-style-type: none"> ・ 老朽化に伴い、平成 30 年度中に旧議会棟へ機能移転し、令和元年度に取壊しが完了し、跡地利用としては、図書館の駐車場として整備を行う。 |
| 国頭研修会館 | | 一部取壊し 国頭研修会館 必要な改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧へき地保健福祉館部分については、露筋、爆裂、雨漏りが見られ、危険性が大きかったため、国頭字により爆裂の補修を行った。 ・ 国頭研修会館については、築 30 年が経過しており、一部雨漏りが見られる。指定避難所となっており、施設の充実化を図る必要があるため、今後、防災関連施設整備事業等を活用し、改修工事を行う。 |
| 和泊町谷山生活館 | | 必要な改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 築 40 年が経過しており、露筋、爆裂が一部見られる。指定避難所となっており、施設の充実化を図る必要があるため、今後、防災関連施設整備事業等を活用し、改修工事を行う。 |
| 和泊町研修センター | | 必要な改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内外の研修、宿泊施設もあり、学校の宿泊学習やスポーツ合宿に利用されている。類似機能を有する施設がない。 ・ 多目的ホール、研修棟（45 人）、宿泊棟（56 人）等。 ・ 公民館、図書館、歴史民俗資料館等、他の社会教育施設等との複合化等の可能性についても検討する。 ・ 雨漏り、外壁のひび割れ等がみられる。 ・ 築 60 年程度まであと 30 年程度利用できるような改修を行う。 |
| 西原字公民館 | | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 旧公民館は老朽化により、露筋・爆裂が酷く、危険な状況のため、令和元年度に取壊しを行い、跡地利用としては駐車場の整備を行う。 ・ 現公民館は定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 大城研修会館 | | 必要な改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 築 30 年が経過しているが、建物に目立った危険箇所はない。指定避難所となっており、施設の充実化を図る必要があるため、今後、防災関連施設整備事業等を活用し、改修工事を行う。 |
| 内城集落農事集会施設 | | 必要な改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 築 30 年近く経過しているが、建物に目立った危険箇所はない。指定避難所となっており、施設の充実化を図る必要があるため、今後、防災関連施設整備事業等を活用し、改修工事を行う。 |
| 和泊町瀬名多目的集会施設 | | 必要な改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 築 30 年を経過しており、建物に目立った危険箇所はないが、外壁の劣化が見られる。指定避難所となっており、施設の充実化を図る必要があるため、今後、防災関連施設整備事業等を活用し、改修工事を行う。 |

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|------------------|--------------|--|
| 和泊町子どもと老人の家 | 必要な改修工事 | ・築40年を経過しているが、過去に改修工事を実施しており、建物に目立った危険箇所はない。指定避難所となっており、施設の充実化を図る必要があるため、今後、防災関連施設整備事業等を活用し、改修工事を行う。 |
| 根折字公民館 | 現状維持 | ・著しい劣化はみられない。 ・現状維持。定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 和字公民館 | 対策済み 現状維持 | ・H24～25年度に防災関連施設整備事業により、大規模改修を実施しており、早急に対策が必要な工事はない。築60年程度まであと20年程度利用する見込みとする。 |
| 和泊町伊延公民館 | | |
| 和泊町畦布生活館 | | |
| 和泊町玉城生活館 | | |
| 和泊町古里生活館 | | |
| 永嶺コミュニティセンター | | |
| 仁志生活改善センター | | |
| 後蘭コミュニティセンター | | |
| 喜美留字公民館 | 現状維持 | ・比較的新しく、著しい劣化はみられない。 ・現状維持。定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 出花字コミュニティセンター | | |
| 皆川字公民館 | | |
| 和泊町防災拠点施設「やすらぎ館」 | | |
| えらぶ長浜館 | | |

◆スケジュール

| 施設名称 | | H30 | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 |
|------------------|----------|----------|-----------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 中央公民館 | (旧議会棟) | 機能 移転 | 部分 改修 | | | | | | | | |
| | (旧中央公民館) | | 取壊し | | | | | | | | |
| 国頭研修会館 | | 現状維持 | | 必要な改修 工事 | | | | | | | |
| 和泊町谷山生活館 | | 現状維持 | | 必要な改修 工事 | | | | | | | |
| 和泊町研修センター | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 西原字公民館 | | | 旧公 取壊し | 現状維持 | | | | | | | |
| 大城研修会館 | | 現状維持 | | 必要な改修 工事 | | | | | | | |
| 内城集落農事集会施設 | | 現状維持 | | 必要な改修 工事 | | | | | | | |
| 和泊町瀬名多目的集会施設 | | 現状維持 | | 必要な改修 工事 | | | | | | | |
| 和泊町子どもと老人の家 | | 現状維持 | | 必要な改修 工事 | | | | | | | |
| 根折字公民館 | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 和字公民館 | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 和泊町伊延公民館 | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 和泊町畦布生活館 | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 和泊町玉城生活館 | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 和泊町古里生活館 | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 永嶺コミュニティセンター | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 仁志生活改善センター | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 後蘭コミュニティセンター | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 喜美留字公民館 | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 出花字コミュニティセンター | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 皆川字公民館 | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 和泊町防災拠点施設「やすらぎ館」 | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| えらぶ長浜館 | | 現状維持 | | | | | | | | | |

(2) 社会教育系施設（3施設）

◆評価結果

| | I | II | III | IV |
|---|---------|------------|-----|---------|
| A | | | | 和泊町立図書館 |
| B | 西郷南洲記念館 | 和泊町歴史民俗資料館 | | |

◆方向性

住民によく利用されている施設であるが、運営事務の効率化等も含めて、社会教育施設等の今後の在り方に関しては、総合的な検討協議を行った上で今後の整備の必要性を検討します。

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|------------|----------------------------|--|
| 和泊町立図書館 | 機能移転・複合化 または 必要な改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築後 30 年を経過し、耐震性にも問題がある。 ・ 露筋や爆裂など施設の老朽化が見られるため、移転及び他の施設との複合化について検討する。 ・ 今後継続して使用していく場合は、屋根、床、壁等に不具合がでてきており、快適な施設利用に支障をきたすものと思われるため、改修工事を実施する必要がある。築 60 年程度まであと 20 年利用するために必要な改修を行う。 |
| 和泊町歴史民俗資料館 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 著しい劣化はみられない。 ・ 展示機能・社会教育施設としては、西郷南洲記念館と用途が重複するため、他の役割を担う有効活用を検討する。将来的に建替えの検討をする時期には、集約化の検討を行う必要があるものと考えられるが、今後 10 年は、現状を維持するものとする。 ・ 定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 西郷南洲記念館 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 著しい劣化はみられない。 ・ 展示機能・社会教育施設としては、歴史民俗資料館と用途が重複するため、観光交流拠点等、他の役割を担う有効活用を検討する。将来的に歴史民俗資料館の建替えを検討する時期には、集約化の検討を行う必要があるものと考えられるが、今後 10 年は、現状を維持するものとする。 ・ 定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |

◆スケジュール

| 施設名称 | H30 | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 |
|------------|------|-----|-----------|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|
| 和泊町立図書館 | | | 移転・複合化の検討 | | | 必要な改修工事の検討 | | | | |
| 和泊町歴史民俗資料館 | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 西郷南洲記念館 | 現状維持 | | | | | | | | | |

(3) スポーツ・レクリエーション系施設（6施設）

◆評価結果

| | I | II | III | IV |
|---|-----------|--|-----|--------|
| A | | 町民運動広場 | | |
| B | タラソおきのえらぶ | 和心館（相撲道場） 和泊町柔剣道場 和泊町ふれあい交流施設(笠石ドーム) | | 和泊町弓道場 |

◆方向性

住民によく利用されている施設であるが、それぞれのスポーツの競技人口等を調査し、今後の整備の必要性を検討します。平成 28 年度に取り壊しを行った町民体育館についても検討を行います。

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|------------------------|--------------|---|
| 和泊町弓道場 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 築 40 年を超え、外壁のひび割れ、爆裂、天井の崩落が見られ、危険な状況であったため平成 29 年度にコンクリート落下防止の補修工事を行った。 ・ 専用施設として整備するしかないため、他機能との複合化は難しい。将来的に、建替えを検討する際には、町民体育館の建設時に、社会体育施設全体の建替え等の構想を計画していく。 |
| 和心館（相撲道場） | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 塩害によりトタンが傷み、雨漏りがひどかったため平成 29 年度トタン屋根の張替を行った。 ・ 専用施設として整備するしかないため、他機能との複合化は難しい。将来的に、建替えを検討する際には、町民体育館の建設時に、社会体育施設全体の建替え等の構想を計画していく。 ・ 築 30 年程度まであと 10 年程度利用する見込みとする。 |
| 和泊町柔剣道場 | 対策済み 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 築 30 年を超えているが、平成 25 年度に大規模改修を実施しており、早急に対策が必要な工事はない。 ・ 会議室やスポーツ・文化等多目的での使用となっている。 ・ 築 60 年程度まであと 20 年程度利用する見込みとする。 ・ 柔剣道場機能としては、町民体育館の建設時に、社会体育施設全体の建替え等の構想を計画していく。 |
| 和泊町ふれあい交流施設 (笠石ドーム) | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 支柱にひび割れが生じている。 ・ 稼働率は低いが、専用施設として整備するしかないため、他機能との複合化は難しい。将来的に、建替えを検討する際には、町民体育館の建設時に、社会体育施設全体の建替え等の構想を計画していく。 ・ 安全性に問題ないか専門家の意見等を聞いたうえで問題がある場合は、支柱の補強等を検討する。 |

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|-----------|---------|--|
| 町民運動広場 | 必要な改修工事 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 建物は倉庫、便所。 ・ 専用施設として整備するしかないので、他機能との複合化は難しい。 ・ 築 30 年が経過しているが、建物に目立った危険箇所はない。今後、ユニバーサルデザイン化を推進していくため、洋式トイレ等の整備など必要な改修工事を進めていく。 |
| タラソおきのえらぶ | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康増進施設として、毎日、多くの島民に利用されている。 ・ 利用されていないスペースの有効活用を検討する。 ・ 定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 ・ 現時点では改修工事の予定はないが、今後、大規模改修が必要となった場合は、事業の継続も含め検討する。 |

◆スケジュール

| 施設名称 | H30 | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 |
|--------------------|---|-----|---------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 和泊町弓道場 | 現状維持。 町民体育館建設の検討とともに社会体育施設全体の在り方の計画。 | | | | | | | | | |
| 和心館（相撲道場） | | | | | | | | | | |
| 和泊町柔剣道場 | | | | | | | | | | |
| 和泊町ふれあい交流施設(笠石ドーム) | | | | | | | | | | |
| 町民運動広場 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | |
| タラソおきのえらぶ | 現状維持 | | | | | | | | | |

(4) 産業系施設 (10 施設)

◆評価結果

| | I | II | III | IV |
|---|------|---|-----|--------------|
| B | 製氷施設 | 和泊町実験農場 トラックタンカー格納庫 機械格納庫 球根貯蔵施設 堆肥施設 種苗供給センター | | 和泊町農産物加工センター |
| C | | 増殖施設 | | 和泊町有機物供給センター |

◆方向性

今後も必要な施設かどうか、将来の利用方針を明確に決定し、統合できるものは、集約化を進めます。利用者が限られるような専用施設については利用者との協議の上譲渡を進めます。有効利用度が C ランクの施設は、将来的に廃止の方向で検討し、大規模改修は実施しませんが、利用者に危険がないように修繕対応は行うものとし、比較的新しい施設も、現在の機能は早急に廃止等の決定を行い、用途変更して利活用する方向で検討します。

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|--------------|--------|--|
| 和泊町農産物加工センター | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・新築に伴い不要となった旧学校給食センターを活用し、平成 29 年度に用途変更。 ・外壁にひび割れ等がみられる。 ・築 60 年程度まであと 15 年程度は利用できるものと見込まれる。 ・利用状況を見て、今後も 10 年以上継続して多くの利用が見込まれる場合は、壁等の補修を実施し、危険箇所がないように対処するが、大規模な改修工事は実施しないものとする。 |
| 和泊町有機物供給センター | 建替え | <ul style="list-style-type: none"> ・汚水処理未対応地区で利用されている。 ・建築後 30 年以上経過しており、屋根壁等に剥がれが見られる。 ・下水道広域化推進総合事業で新規施設の建設を行う。 ・建替えが行われるまでは必要に応じて修繕を行う。 |
| 増殖施設 | 統廃合の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状稼働していない。 ・研究施設としての機能は実験農場と重複する。 ・適切に管理を実施していけば、築 60 年程度まであと 30 年利用できるものと見込まれる。 ・定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 ・可能であれば、早期に利用者への譲渡を行い、町有財産の保有面積削減、取壊し費用の削減につなげる。 |

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|-------------|--------|--|
| 和泊町実験農場 | 統廃合の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・築 20 年を超え、内壁外壁のひび割れや、雨漏り等が発生している。 ・農業振興に重要な役割を持っている施設であるが、研究施設としての機能は増殖施設と重複するため、統合についてまず検討したうえで、改修工事の検討を実施する。 ・適切に管理を実施していけば、築 60 年程度まであと 30 年利用できるものと見込まれるため、維持する場合は、あと 30 年利用するために必要な改修工事を行う。 ・周辺ほ場については、新規就農者に貸し付けを行い、有効活用を図る。 |
| 球根貯蔵施設 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・著しい劣化はみられない。 ・適切に管理を実施していけば、築 60 年程度まであと 30 年利用できるものと見込まれるため、将来的に廃止の方向であれば、最低限の改修工事、30 年後も存続の方向であれば、あと 30 年利用するために必要な改修工事を実施する。 |
| 種苗供給センター | 統廃合の検討 | <ul style="list-style-type: none"> ・稼働が低いため、機能移転（実験農場等）について検討する。 ・適切に管理を実施していけば、築 60 年程度まであと 30 年利用できるものと見込まれるため、将来的に廃止の方向であれば、最低限の改修工事、存続の方向であれば、あと 30 年利用するために必要な改修工事を実施する。 ・公用車の共用車庫としての活用も検討する。 |
| トラックタンカー格納庫 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・塩害による腐食により、穴がある。 ・機械格納に支障があるようであれば（穴が開いていることで格納している機械が劣化してしまうようであれば）、修繕を実施する。 |
| 機械格納庫 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・シャッターが稼働しない。 ・機械格納に支障があるようであれば（シャッターが開いていることで格納している機械が劣化してしまうようであれば）、修繕を実施する。 ・シャッターが不要であれば、落下の危険性があるので早急に取り外す。 |
| 堆肥施設 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・著しい劣化はみられない。 ・事業活用のため、耐用年数期間は譲渡不可。 ・定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 製氷施設 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・著しい劣化はみられない。 ・事業活用のため、耐用年数期間は譲渡不可。 ・定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 和泊町農業廃液処理施設 | 譲渡済 | <ul style="list-style-type: none"> ・現状稼働していない。 ・現在は、知名町にある同様施設を共同利用させてもらう形で運用中。 ・知名町の施設も老朽化が進行しており、処理施設については、両町共同で建設するなどの検討が必要。 |

◆スケジュール

| 施設名称 | H30 | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 |
|--------------|---------|-----|-----|------------|-----|------------------|-----|-----|-----|-----|
| 和泊町農産物加工センター | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 和泊町有機物供給センター | 現状維持 | | | | | 下水道広域化推進総合事業等で建設 | | | | |
| 増殖施設 | 利用者との協議 | | | | | 必要な改修工事の検討 | | | | |
| 和泊町実験農場 | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 球根貯蔵施設 | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 種苗供給センター | 統廃合の検討 | | | 必要な改修工事の検討 | | | | | | |
| トラックタンカー格納庫 | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 機械格納庫 | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 堆肥施設 | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 製氷施設 | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 和泊町農薬廃液処理施設 | | 譲渡 | | | | | | | | |

(5) 子育て支援施設（4 施設）

◆評価結果

| | I | II | III | IV |
|---|---|----|-------------------------------------|----|
| B | | | 大城こども園 内城こども園 和泊幼稚園 国頭こども園 | |

◆方向性

子育て支援施設は、4 施設とも同時期に建設されており、老朽化の程度も同程度です。利用者（園児）は減少傾向ですが、0～1 歳の低年齢児の入所希望が増えており、保育士有資格者の確保等の課題もあるため、今後の人口の推移によっては統合集約及び改修を検討します。

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|--------|-------|---|
| 大城こども園 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・定員に対して余裕がある状況。 ・築 30 年を超え、老朽化が進行しているが、目立った危険箇所はない。 ・必要に応じて改修工事を行い、建物の延命化・長期利用を行う。 |
| 内城こども園 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・定員に対して余裕がある状況。 ・築 30 年を超え、老朽化が進行しているが、目立った危険箇所はない。 ・必要に応じて改修工事を行い、建物の延命化・長期利用を行う。 |
| 国頭こども園 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・定員に対して余裕がある状況。 ・保育所は、築 30 年を超え、老朽化が進行しているが、目立った危険箇所はない。幼稚園舎は、築 40 年を超え、外壁のひび割れ、天井の雨漏り等が発生している。 ・必要に応じて改修工事を行い、建物の延命化・長期利用を行う。 |
| 和泊幼稚園 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・定員に対して余裕がある状況。 ・築 40 年を超え、老朽化が進行し、外壁のひび割れ、爆裂、天井のコンクリート落下などがあったため、平成 29 年度に爆裂補修や天井板の張替えを行った。 ・町内の保育園、こども園との統廃合を検討しながら、必要に応じて改修工事を行い、建物の延命化・長期利用を行う。 |

◆スケジュール

| 施設名称 | H30 | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 |
|--------|------|-----|-----|-----|-----|------------------|-----|-----|-----|-----|
| 大城こども園 | 現状維持 | | | | | 統合集約及び必要な改修工事の検討 | | | | |
| 内城こども園 | 現状維持 | | | | | 統合集約及び必要な改修工事の検討 | | | | |
| 国頭こども園 | 現状維持 | | | | | 統合集約及び必要な改修工事の検討 | | | | |
| 和泊幼稚園 | 現状維持 | | | | | 統合集約及び必要な改修工事の検討 | | | | |

(6) 保健・福祉施設 (5 施設)

◆評価結果

| | I | II | III | IV |
|---|--|------------|-----|----|
| B | スマイル館にやーとう ふれあい館ガジュマル 旧和泊町保健センター 地域交流施設 どうくさ館 | 和泊町老人いこいの家 | | |

◆方向性

多目的ホールは、字の公民館等他施設のスペースを利用できるので、今後新規整備は行わないものとします。

まだ新しい施設については、今後も高齢者の介護予防等の施設として運用をしながら、他機能の受け入れ等、利用の幅を広げて有効利用していくものとします。

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|------------|-------|---|
| 和泊町老人いこいの家 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・老人の保養、心身の健康増進施設として、利用されている。 ・建物は老朽化しており、壁のひび割れ、雨漏りがある。 ・平成 29 年度に雨漏りによる屋上防水工事を実施。 ・多目的ホールの機能は、地区公民館等で代替できるため、今後建替えは検討せず、他施設を利用し活動を行う。 ・適切に管理を実施していけば、築 60 年程度まであと 10 年程度は利用できるものと見込まれる。あと 10 年利用するために必要な軽微な修繕工事は実施するが、多額の費用が発生するような改修工事は行わない。 ・長寿クラブの意向も考慮しながら、他の施設との複合化及び移転も検討。もしくは、他の施設の建替えを検討する際に、老人いこいの家の機能も含めた検討をする。 |
| スマイル館にやーとう | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の介護予防、居宅介護支援施設として、介護予防教室等を開催している。一般利用もできる。 ・まだ新しく、劣化等はない。定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| ふれあい館ガジュマル | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の介護予防、居宅介護支援施設として、介護予防教室等を開催している。一般利用もできる。 ・まだ新しく、劣化等はない。定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|--------------|-------|--|
| 旧和泊町保健センター | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりをサポートする拠点施設として各種検診や、巡回相談、子育てサロン等を実施しており、毎日利用されている。 ・比較的新しいが、雨漏りがあり、平成 24 年度、平成 28 年度に補修を実施。 ・定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。職員については、本庁者へ移行したが、健康づくり事業、子育て支援事業、調理実習、子どもの健診等の保健センター機能は今後も活用する。なお、事務所スペースについては、令和 2 年 2 月から和泊町社会福祉協議会へ貸与し、事務所として使用している。 |
| 地域交流施設 どうくさ館 | 建替え | <ul style="list-style-type: none"> ・旧法務局跡を平成 24 年度に改修工事をして活用している。 ・著しい劣化は見られないため、定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 ・庁舎周辺の道路拡張工事に伴い、令和 3 年度以降に建替えを行う。 |

◆スケジュール

| 施設名称 | H30 | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 |
|--------------|----------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 和泊町老人いこいの家 | 現状維持 (施設の寿命をもって廃止。または複合化・移転の検討。) | | | | | | | | | |
| スマイル館にゃーとう | 現状維持 | | | | | | | | | |
| ふれあい館ガジュマル | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 旧和泊町保健センター | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 地域交流施設 どうくさ館 | 現状維持 | | | 建替え | | | | | | |

(7) 行政系施設 (9 施設)

◆評価結果

| | I | II | III | IV |
|---|---|-------------------------------|--------------|----|
| A | 和泊町役場庁舎 和泊町有線テレビスタジオ | | | |
| B | 第1分団車庫(喜美留) 第2分団車庫(畦布) 第3分団車庫(国頭) 第4分団車庫(玉城) 第6分団車庫(永嶺) | 消防団拠点施設(防災センター) 第5分団車庫(大城) | | |
| C | | | 旧土木課棟(和泊町役場) | |

◆方向性

定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努めます。各消防団の分団車庫は、町の安全を維持するために必要な施設であり、統廃合は行わないものとします。

| 施設名称 | | 今後の方針 | 説明 |
|-----------------------|-------|-------|---|
| 和泊町役場 | 旧土木課棟 | 取壊し | ・中央公民館講座、会議室等して利用されている。庁舎周辺の道路拡張工事に伴い、令和2年度に取壊しを予定している。 |
| | 庁舎 | 現状維持 | ・行政サービスの提供に毎日住民に利用されている施設であり、災害時の防災拠点として不可欠な施設である。 ・まだ新しく劣化等はない。定期点検を実施し、予防保全に努める。 |
| 和泊町有線テレビスタジオ | | 現状維持 | ・有線テレビスタジオ、防災無線設備システムを設置している。 ・令和元年度に施設の長寿命化を図るため、外壁の防水塗装工事を行った。 ・著しい劣化はみられない。 ・企画課は本庁舎に移転し、そのスペースは会議室等として利用されている。 ・ヘッドエンド設備の更新を行った。 令和元年度 61,514 千円 |
| 消防団拠点施設(消防車庫)(防災センター) | | 建替え | ・第一分団消防車庫、防災拠点施設として利用されている。 ・2階部分は会議室として利用されている。 ・築25年を経過し、壁のひび割れ等も見られるが危険箇所等はない。庁舎周辺の道路拡張工事に伴い、令和2年度に取壊し及び建替えを行う。その際は、車庫機能以外に物資の保管庫等の機能を備える。 |

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|-------------|-------|---|
| 第1分団車庫（喜美留） | 現状維持 | ・建物に目立った危険箇所はない。 定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 第2分団車庫（畦布） | 現状維持 | ・築20年近く経過しているが、建物に目立った危険箇所はない。定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 第3分団車庫（国頭） | 現状維持 | ・平成28年度建替え。 ・定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 第4分団車庫（玉城） | 現状維持 | ・平成25年度建替え。 ・定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 第5分団車庫（大城） | 現状維持 | ・築20年を経過しているが、建物に目立った危険箇所はない。定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 第6分団車庫（永嶺） | 現状維持 | ・平成24年度建替え。 ・定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 和泊港旧待合所 | 取壊し | 令和元年度に取壊しが完了し、跡地利用としては、台風接近時避難用駐車場等として整備を行う。 |

◆スケジュール

| 施設名称 | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 |
|-----------------|-------|--------|-----|------|----|----|----|----|----|----|----|
| 和泊町役場 | 旧土木課棟 | | | 取壊し | | | | | | | |
| | 庁舎 | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 消防団拠点施設（防災センター） | | | | 建替え | | | | | | | |
| 和泊町有線テレビスタジオ | | 特殊設備更新 | | 現状維持 | | | | | | | |
| 第1分団車庫（喜美留） | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 第2分団車庫（畦布） | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 第3分団車庫（国頭） | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 第4分団車庫（玉城） | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 第5分団車庫（大城） | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 第6分団車庫（永嶺） | | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 和泊港旧待合所 | | | 取壊し | | | | | | | | |

(8) その他 (13 施設)

◆評価結果

| | I | II | III | IV |
|---|--------|--|--|---------------|
| B | 風力発電施設 | しま暮らし体験住宅 1 号棟 しま暮らし体験住宅 2・3 号棟 あしきぶ公園トイレ 西郷南洲記念館前公園トイレ 南洲神社 しま暮らし体験住宅 4 号棟 | 伊延公園トイレ 石川公園トイレ 笠石海浜公園トイレ(パースハウス、ゆりの塔) | |
| C | | (旧)フラワー選花場 | 旧白百合土地改良区事務所 | (旧)沖永良部花きセンター |

◆方向性

しま暮らし体験住宅については、町外からの移住希望者が、和泊町において定住地探しをするための重要な施設となっているため、快適な施設利用に支障をきたすと思われるときは、改修等を検討します。

風力発電施設については、今後も定期点検を実施し、多額の修繕費用等が発生しないよう、予防保全に努めます。

旧白百合土地改良区事務所については、現在廃止中であるが、必要な改修工事等を行い、他機能の受け入れ等、利用の幅を広げて有効利用していくものとします。

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|------------------------|-----------------------|--|
| 伊延公園トイレ | 必要な改修工事 | 築 30 年が経過しているが、建物に目立った危険箇所はない。今後、ユニバーサルデザイン化を推進していくため、洋式トイレ等の整備など必要な改修工事を進めていく。 |
| 石川公園トイレ | 現状維持 | 築 30 年が経過しているが、建物に目立った危険箇所はない。ユニバーサルデザイン化事業により洋式トイレ等の整備などを行った。 |
| 笠石海浜公園トイレ(パースハウス、ゆりの塔) | 現状維持 | 築 30 年が経過しているが、建物に目立った危険箇所はない。令和元年度にユニバーサルデザイン化事業により洋式トイレ等の整備などを行った。 |
| 旧白百合土地改良区事務所 | 必要な改修工事 及び 機能移転 | <ul style="list-style-type: none"> ・築 30 年を経過しており、内装が老朽化により剥がれ落ちていく。 ・内壁・外壁や躯体に目立った外傷がないため、内装等の改修を検討し、他機能の受け入れ等を検討する。 |
| (旧)沖永良部花きセンター | 譲渡の協議 | <ul style="list-style-type: none"> ・普通財産として、社会福祉法人和泊町社会福祉協議会に障害者就労支援施設さねんとして減免貸付を行い、利用されている。 ・築 30 年以上経過しており、内壁外壁にひび割れ、爆裂等、危険箇所が見られる。 ・今後 10 年程度利用できるものと思われるが、現状行政目的で利用されてはならず、建替え時期が来たら取り壊しを実施する。改修工事も実施しない。 ・可能であれば、早期に利用者への譲渡を行い、町有財産の保有面積削減、取壊し費用の削減につなげる。 |

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|----------------|---------|--|
| (旧)フラワー選花場 | 譲渡の協議 | <ul style="list-style-type: none"> ・普通財産として公益社団法人和泊町シルバー人材センターに貸付を行っている。 ・築30年を経過しており、雨漏り、外壁のひび割れ等が発生しているが、利用者により改修を行っている。 ・今後20年程度利用できるものと思われるが、現状行政目的で利用されてはならず、建替え時期が来たら取壊しを実施する。改修工事も実施しない。 ・可能であれば、早期に利用者への譲渡を行い、町有財産の保有面積削減、取壊し費用の削減につなげる。 |
| 西郷南洲記念館前公園トイレ | 現状維持 | 築20年が経過しているが、建物に目立った危険箇所はない。令和元年度にユニバーサルデザイン化事業により洋式トイレ等の整備などを行った。 |
| 南洲神社トイレ | 現状維持 | 築20年が経過しているが、建物に目立った危険箇所はない。令和元年度にユニバーサルデザイン化事業により洋式トイレ等の整備などを行った。 |
| あしきぶ公園トイレ | 必要な改修工事 | 築20年近く経過しているが、建物に目立った危険箇所はない。今後、ユニバーサルデザイン化を推進していくため、洋式トイレ等の整備など必要な改修工事を進めていく。 |
| しま暮らし体験住宅1号棟 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・築30年近く経過しているが、H22年度に外部塗装及び内装工事を行っている。 ・露筋や爆裂、雨漏り等の目立った外傷がないため、このまま適切に維持管理を続けるものとするが、予防保全を進めていくため、期間中に屋根壁の塗装、付属設備の更新等の検討を行う。 |
| しま暮らし体験住宅2・3号棟 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・築40年を経過しているが、H23年度に外部塗装及び内装工事を行っている。 ・露筋や爆裂、雨漏り等の目立った外傷がないため、このまま適切に維持管理を続けるものとするが、予防保全を進めていくため、期間中に屋根壁の塗装、付属設備の更新等の検討を行う。 |
| しま暮らし体験住宅4号棟 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・築30年以上経過しているが、令和元年度に外部塗装及び内装工事を行っている。 ・露筋や爆裂、雨漏り等の目立った外傷がないため、このまま適切に維持管理を続けるものとするが、予防保全を進めていくため、期間中に屋根壁の塗装、付属設備の更新等の検討を行う。 |
| 風力発電施設 | 現状維持 | <ul style="list-style-type: none"> ・著しい劣化はみられない。定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |

◆スケジュール

| 施設名称 | H30 | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 |
|------------------------|---------|------------|---------|----------|-----|------------|-----|-----|-----|-----|
| 伊延公園トイレ | | | 必要な改修工事 | | | | | | | |
| 石川公園トイレ | | 改修 | 現状維持 | | | | | | | |
| 笠石海浜公園トイレ(バースハウス、ゆりの塔) | | 改修 | 現状維持 | | | | | | | |
| 旧白百合土地改良区事務所 | | 必要な改修工事の検討 | | 機能移転 | | | | | | |
| (旧)沖永良部花きセンター | 利用者との協議 | | | 所有権移転を検討 | | | | | | |
| (旧)フラワー選花場 | 利用者との協議 | | | 所有権移転を検討 | | | | | | |
| 西郷南洲記念館前公園トイレ | | 改修 | 現状維持 | | | | | | | |
| 南洲神社トイレ | | 改修 | 現状維持 | | | | | | | |
| あしきぶ公園トイレ | | | 必要な改修工事 | | | | | | | |
| しま暮らし体験住宅 1 号棟 | 現状維持 | | | | | 必要な改修工事の検討 | | | | |
| しま暮らし体験住宅 2・3 号棟 | 現状維持 | | | | | 必要な改修工事の検討 | | | | |
| しま暮らし体験住宅 4 号棟 | 現状維持 | | | | | 必要な改修工事の検討 | | | | |
| 風力発電施設 | 現状維持 | | | | | | | | | |

(9) 上下水道施設 (建物) (9 施設)

(ポンプ場は浄化センターに関連付随する機能として、施設数のカウントから外しています。)

◆評価結果

| | I | II | III | IV |
|---|----------|------------|-----|----|
| A | 資源循環施設 | 和泊第1中継ポンプ場 | | |
| B | 和泊浄化センター | 和泊第2中継ポンプ場 | | |
| | 北部浄化センター | 国頭浄化センター | | |
| | 中部浄化センター | | | |
| | 仁嶺浄化センター | | | |
| | 城浄化センター | | | |

◆方向性

平成 29 年度より和泊処理区と中部処理区の統廃合事業を実施しており、和泊浄化センターの流入量を増加させ施設稼働率の改善を図る。また、将来的に各施設の老朽化に伴い不具合の発生等が予測されるが、機能強化対策事業や長寿命化事業等を導入し施設設備の更新を図る。

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|--------------|----------------------------------|--|
| 資源循環施設 | 現状維持 | ・著しい劣化はみられない。定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 和泊浄化センター | 統廃合事業 (実施中) 耐震化 (実施中) 長寿命化 | ・平成 29 年度より中部地区の統廃合に向けた事業及び耐震化事業を実施している。また、令和 3 年度から長寿命化事業を導入し、施設設備の更新を実施する予定である。 |
| 和泊第 1 中継ポンプ場 | 統廃合事業 (実施中) 耐震化 (実施中) 長寿命化 | ・平成 29 年度より中部地区の統廃合に向けた事業及び耐震化事業を実施している。また、令和 3 年度から長寿命化事業を導入し、施設設備の更新を実施する予定である。 |
| 和泊第 2 中継ポンプ場 | 統廃合事業 (実施中) 耐震化 (実施中) 長寿命化 | ・平成 29 年度より中部地区の統廃合に向けた事業及び耐震化事業を実施している。また、令和 3 年度から長寿命化事業を導入し、施設設備の更新を実施する予定である。 |
| 中部浄化センター | 令和 2 年度に浄化センターから中継ポンプ施設へ移行 | ・平成 29 年度より公共下水道地区への統廃合に向けた事業を実施しており、令和 2 年度に処理場から中継ポンプ場への改造工事を実施し、維持管理費の削減を目指す。 ・定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |

| 施設名称 | 今後の方針 | 説明 |
|----------|-------------|--|
| 国頭浄化センター | 機能強化対策（実施中） | <ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度より機能強化対策事業にて実施していた施設設備の更新が令和元年度に完了している。 定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 北部浄化センター | 機能強化対策（実施中） | <ul style="list-style-type: none"> 平成 27 年度より機能強化対策事業にて実施していた施設設備の更新が令和元年度に完了している。 定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。 |
| 仁嶺浄化センター | 機能強化対策 | <ul style="list-style-type: none"> 著しい劣化はみられない。定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。今後、令和 3 年度より機能強化対策事業の導入により、施設設備の更新を実施していく予定である。 |
| 城浄化センター | 機能強化対策 | <ul style="list-style-type: none"> 著しい劣化はみられない。定期点検を実施し、不具合の早期発見、予防保全に努める。今後、令和 3 年度より機能強化対策事業の導入により、施設設備の更新を実施していく予定である。 |

◆スケジュール

| 施設名称 | H30 | R 1 | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | R 6 | R 7 | R 8 | R 9 |
|--------------|------------|-----|-----|------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 資源循環施設 | 現状維持 | | | | | | | | | |
| 和泊浄化センター | 統廃合事業実施中 | | | 長寿命化事業実施 | | | | | | |
| | 耐震化事業実施中 | | | | | | | | | |
| 和泊第 1 中継ポンプ場 | 統廃合事業実施中 | | | 長寿命化事業実施 | | | | | | |
| | 耐震化事業実施中 | | | | | | | | | |
| 和泊第 2 中継ポンプ場 | 統廃合事業実施中 | | | 長寿命化事業実施 | | | | | | |
| | 耐震化事業実施中 | | | | | | | | | |
| 中部浄化センター | 統廃合事業実施中 | | | 長寿命化事業実施 | | | | | | |
| 国頭浄化センター | 機能強化対策事業実施 | | | | | | | | | |
| 北部浄化センター | 機能強化対策事業実施 | | | | | | | | | |
| 仁嶺浄化センター | | | | 機能強化対策事業実施 | | | | | | |
| 城浄化センター | | | | 機能強化対策事業実施 | | | | | | |

第4章 対策内容と実施時期

第1節 今後対策が必要になる施設

今後10年間で、建替え、改修、取壊し等の工事を検討している施設とその実施時期について整理しました。

巻末 今後の方針及びスケジュール 参照。

| 今後の方針・スケジュール（今後10年間で発生するもの） | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------|-----------------------|--------|-------------|---------|------------|------|----|---------------|----|------------------|----|--|
| 分類 | 施設名称 | スケジュール | | | | | | | | | | |
| | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | R9 | |
| 市民文化系施設 | 中央公民館（旧議会議棟） | 機能移転 | 部分改修 | | | | | | | | | |
| 市民文化系施設 | 中央公民館（旧中央公民館） | | 取壊し | | | | | | | | | |
| 市民文化系施設 | 国頭研修会館 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | | |
| 市民文化系施設 | 和泊町谷山生活館 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | | |
| 市民文化系施設 | 西原字公民館 | | 一部取壊し | | | | | | | | | |
| 市民文化系施設 | 大城研修会館 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | | |
| 市民文化系施設 | 内城集落農事集会施設 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | | |
| 市民文化系施設 | 和泊町瀬名多目的集会施設 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | | |
| 市民文化系施設 | 和泊町子どもと老人の家 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | | |
| 社会教育系施設 | 和泊町立図書館 | | 移転・複合化の検討 | | | | | 必要な改修工事 | | | | |
| スポーツ・レクリエーション系施設 | 町民運動広場 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | | |
| 産業系施設 | 和泊町有機物供給センター | | | | | | | | | 下水道広域化推進総合事業等で建設 | | |
| 産業系施設 | 増殖施設 | | | 利用者との協議 | | | | 必要な改修工事 | | | | |
| 産業系施設 | 種苗供給センター | | 統廃合の検討 | | 必要な改修工事の検討 | | | | | | | |
| 子育て支援施設 | 大城こども園 | | | | | | | 統合集約及び必要な改修工事 | | | | |
| 子育て支援施設 | 内城こども園 | | | | | | | 統合集約及び必要な改修工事 | | | | |
| 子育て支援施設 | 国頭こども園 | | | | | | | 統合集約及び必要な改修工事 | | | | |
| 子育て支援施設 | 和泊幼稚園 | | | | | | | 統合集約及び必要な改修工事 | | | | |
| 保健・福祉施設 | 地域交流施設 どうくさ館 | | | | | 建替え | | | | | | |
| 行政系施設 | 旧土木課棟 | | | 取壊し | | | | | | | | |
| 行政系施設 | 消防団拠点施設（防災センター） | | | 建替え | | | | | | | | |
| 行政系施設 | 和泊町有線テレビスタジオ | | 特殊設備更新 | | | | | | | | | |
| 行政系施設 | 和泊港旧待合所 | | 取壊し | | | | | | | | | |
| その他 | 伊延公園トイレ | | | | 必要な改修工事 | | | | | | | |
| その他 | 石川公園トイレ | | 改修 | | | | | | | | | |
| その他 | 笠石海浜公園トイレ（バスハウス、ゆりの塔） | | 改修 | | | | | | | | | |
| その他 | 旧白百合土地改良区事務所 | | | 必要な改修工事 | | 機能移転 | | | | | | |
| その他 | 西郷南洲記念館前公園トイレ | | 改修 | | | | | | | | | |
| その他 | 南洲神社トイレ | | 改修 | | | | | | | | | |
| その他 | あしきぶ公園トイレ | | | | 必要な改修工事 | | | | | | | |
| その他 | しま暮らし体験住宅1号棟 | | | | | | | 必要な改修工事 | | | | |
| その他 | しま暮らし体験住宅2・3号棟 | | | | | | | 必要な改修工事 | | | | |
| その他 | しま暮らし体験住宅4号棟 | | | | | | | 必要な改修工事 | | | | |
| 上下水道施設 | 和泊浄化センター | | 統廃合事業・耐震化事業 | | 長寿命化事業 | | | | | | | |
| 上下水道施設 | 和泊第1中継ポンプ場 | | 統廃合事業・耐震化事業 | | 長寿命化事業 | | | | | | | |
| 上下水道施設 | 和泊第2中継ポンプ場 | | 統廃合事業・耐震化事業 | | 長寿命化事業 | | | | | | | |
| 上下水道施設 | 中部浄化センター | | 統廃合事業 | | 長寿命化事業 | | | | | | | |
| 上下水道施設 | 国頭浄化センター | | 機能強化対策 | | | | | | | | | |
| 上下水道施設 | 北部浄化センター | | 機能強化対策 | | | | | | | | | |
| 上下水道施設 | 仁嶺浄化センター | | | | 機能強化対策事業 | | | | | | | |
| 上下水道施設 | 城浄化センター | | | | 機能強化対策事業 | | | | | | | |

第5章 対策費用シミュレーション

第1節 シミュレーション方法

すでに明確な設計の見積が出ている場合は、設計価格を使用します。設計価格がない場合には、単価による算定を実施し、今後必要となる費用のシミュレーションを実施します。

特殊設備（舞台装置・照明、焼却炉・専用設備等）を有する場合、金額も多額になることが想定されるため考慮にいれるべきものですが、設備により価格等が大きく異なるため、単価設定や耐用年数設定は行わず、建設時の設計単価や個別の見積りにより対策費用を算定します。

第2節 耐用年数・建設単価の設定

躯体の目標耐用年数は、部材や機器類の物理的、社会的、経済的な耐用年数と異なり使用上の要求や計画的な耐用年数を示すものです。鉄筋コンクリート造の建物の耐用年数は、財務省における減価償却資産の耐用年数に関する省令では50年、日本建築学会における建築工事標準仕様書では65年と述べられています。今回の保全計画における目標耐用年数は60年と定めます。その他の部位の耐用年数について以下の通り設定しました。

設計価格がない場合、単価による算定を行います。建設単価については、総務省公共施設等更新費用試算ソフトで使用されている数値を設定しています。方針が「改修工事」で、必要な改修部位が特定できている場合には、部位ごとに設定された単価により算定します。改修すべき部位が特定されていない場合には、大規模改修工事の単価を使用します。

(1) 耐用年数

| | 耐用年数 | 備考 |
|-------|------|--------------------|
| 躯体 | 60年 | 木造・土蔵造・軽量鉄骨造の場合30年 |
| 屋上・屋根 | 20年 | |
| 外壁 | 15年 | |
| 電気設備 | 30年 | |
| 機械設備 | 15年 | |
| 防災 | 30年 | |
| 昇降機 | 30年 | |

※『建築物のライフサイクルコスト』（建築保全センター発行、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）を参考。

(2) 建替えの場合の建設単価

| | 単価 (円/㎡) | 備考 |
|--|----------|----|
| 市民文化系施設 社会教育系施設 産業系施設 医療施設 行政系施設 | 400,000 | |
| スポーツ・レクリエーション系施設 保健福祉施設 供給処理施設 その他 | 360,000 | |
| 学校教育系施設 子育て支援施設 公園 | 330,000 | |
| 公営住宅 | 280,000 | |

※単価については、総務省公共施設等更新費用資産ソフトで使用されている数値を参考。

※解体費用も含まれます。

※分類ごとに上記単価を使用することを基本としますが、施設の内容により適切なものを選択することとします。

(3) 改修の場合で対象部位が明確ではない場合

| | 単価 (円/㎡) | 備考 |
|--|----------|----|
| 市民文化系施設 社会教育系施設 産業系施設 医療施設 行政系施設 | 250,000 | |
| スポーツ・レクリエーション系施設 保健福祉施設 供給処理施設 その他 | 200,000 | |
| 学校教育系施設 子育て支援施設 公園 | 170,000 | |
| 公営住宅 | 170,000 | |

※単価については、総務省公共施設等更新費用資産ソフトで使用されている数値を参考。

※分類ごとに上記単価を使用することを基本としますが、施設の内容により適切なものを選択することとします。

(4) 改修の場合で対象部位が明確な場合

| | 単価 (円/㎡) | 備考 |
|-------|------------|---|
| 屋上・屋根 | 2,500 | 概算/事務所/屋根/アスファルト防水押えコンクリートの単価 |
| 外壁 | 1,100 | データベース：外壁塗装の建築単価を参考 |
| 内部建築 | 11,700 | 概算/事務所/内部建築/ビニル床シート、ビニルクロス、ビニルクロス+下地の単価合計 |
| 電気設備 | 60,200 | 概算/事務所/3000形/受変電、発電・静止型電源、電力、通信・情報の単価合計 |
| 機械設備 | 44,700 | 概算/事務所/3000形/空調、換気、自動制御、給排水衛生の単価合計 |
| 消防用設備 | 3,000 | 概算/事務所/電気設備/3000形/単価合計 |
| 昇降設備 | 14,800千円/基 | |

※『建築物のライフサイクルコスト』（建築保全センター発行、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）を参考。

※面積は、壁面積、屋根面積ではなく、建物面積による簡易算定の手法による。

(5) 解体費用

| 単価 (円/㎡) | 備考 |
|----------|------------------------------------|
| 35,000 | 概算/事務所/建築、電気設備、機械設備、再利用コスト、環境対策コスト |

※和泊町の解体費用実績単価を参考。

建築当時の建築金額を更新金額として利用することも考えられますが、建築後50年経過したような施設については、建設当時と設備や工法、建築基準も異なるため利用しないものとします。

直近10年程度の類似施設の工事实績が得られる場合には、自団体の実態に即した単価を使用することが望ましいです。

今後、新築や改修を行う際に、各部位についての詳細情報・価格情報について固定資産台帳・工事履歴に登録し管理していくことで、より正確な予測が出せるようになります。

第3節 予防保全費用試算結果

今後の概算事業費を試算した結果、R2～R9の8年間で、あと約20億円必要という結果となりました。平均すると、1年あたり約2.5億円となります。

※今後の方針を、建替え、解体、廃止以外としたものについては、改修の単価を使用し、設計額がわかるものは設計額で計算しました。

巻末 今後の方針及び対策費用 参照。

| 分類 | 施設名称 | 計算 用方 針 | 対象面積 (㎡) | 単価 (千円/㎡) | 必要金額 (千円) | 備考 |
|------------------|------------------------|---------------|-------------|--------------|--------------|----------------|
| 市民文化系施設 | 中央公民館（旧議会棟） | 改修 | 428 | 10 | 4,428 | 改修して中央公民館として利用 |
| 市民文化系施設 | 中央公民館（旧中央公民館） | 解体 | 563 | 35 | 19,507 | 旧議会棟へ機能移転 |
| 市民文化系施設 | 国頭研修会館 | 改修 | 508.4 | 250 | 127,100 | |
| 市民文化系施設 | 和泊町谷山生活館 | 改修 | 132 | 250 | 33,000 | |
| 市民文化系施設 | 西原字公民館 | 解体 | 180 | 30 | 5,398 | 旧公民館部分（180㎡）解体 |
| 市民文化系施設 | 大城研修会館 | 改修 | 250.18 | 250 | 62,545 | |
| 市民文化系施設 | 内城集落農事集會施設 | 改修 | 194 | 250 | 48,500 | |
| 市民文化系施設 | 和泊町瀬名多目的集會施設 | 改修 | 127.53 | 250 | 31,883 | |
| 市民文化系施設 | 和泊町子どもと老人の家 | 改修 | 239.85 | 250 | 59,963 | |
| 社会教育系施設 | 和泊町立図書館 | 改修 | 687.7 | 250 | 171,925 | または複合化・移転 |
| スポーツ・レクリエーション系施設 | 町民運動広場 | 改修 | 47.38 | 200 | 9,476 | |
| 産業系施設 | 和泊町有機物供給センター | 建替 | 153 | 400 | 61,200 | |
| 産業系施設 | 増殖施設 | 改修 | 790 | 250 | 197,500 | |
| 産業系施設 | 種苗供給センター | 改修 | 200 | 250 | 50,000 | または統廃合 |
| 子育て支援施設 | 大城こども園 | 改修 | 619 | 170 | 105,230 | |
| 子育て支援施設 | 内城こども園 | 改修 | 479 | 170 | 81,430 | |
| 子育て支援施設 | 国頭こども園 | 改修 | 603 | 170 | 102,510 | |
| 子育て支援施設 | 和泊幼稚園 | 改修 | 542 | 170 | 92,140 | |
| 保健・福祉施設 | 地域交流施設 どうくさ館 | 建替 | 218.46 | 360 | 78,646 | |
| 行政系施設 | 旧土木課棟 | 解体 | 264 | 35 | 9,240 | |
| 行政系施設 | 消防団拠点施設（防災センター） | 建替 | 420 | 400 | 168,000 | |
| 行政系施設 | 和泊町有線テレビスタジオ | 改修 | - | - | 58,184 | ヘッドエンド設備更新 |
| 行政系施設 | 和泊港旧待合所 | 解体 | 600 | 35 | 20,971 | |
| その他 | 伊延公園トイレ | 改修 | 28.26 | 200 | 5,652 | |
| その他 | 石川公園トイレ | 改修 | 18.95 | 85 | 1,620 | |
| その他 | 笠石海浜公園トイレ（バースハウス、ゆりの塔） | 改修 | 265.97 | 13 | 3,445 | |
| その他 | 旧白百合土地改良区事務所 | 改修 | 180 | 200 | 36,000 | |
| その他 | 西郷南洲記念館前公園トイレ | 改修 | 14 | 73 | 1,026 | |
| その他 | 南洲神社トイレ | 改修 | 16.8 | 62 | 1,036 | |
| その他 | あしきふ公園トイレ | 改修 | 12.6 | 200 | 2,520 | |
| その他 | しま暮らし体験住宅1号棟 | 改修 | 50 | 170 | 8,500 | 住宅用の単価を使用 |
| その他 | しま暮らし体験住宅2・3号棟 | 改修 | 99.9 | 170 | 16,983 | 住宅用の単価を使用 |
| その他 | しま暮らし体験住宅4号棟 | 改修 | 60 | 170 | 10,200 | 住宅用の単価を使用 |
| 上下水道施設 | 和泊浄化センター | 改修 | 1,904.82 | 104.9 | 199,816 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 和泊第1中継ポンプ場 | 改修 | 562.99 | 104.9 | 59,058 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 和泊第2中継ポンプ場 | 改修 | 330.02 | 104.9 | 34,619 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 中部浄化センター | 改修 | 306.00 | 104.9 | 32,099 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 国頭浄化センター | 改修 | 1182.8 | 104.9 | 124,076 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 北部浄化センター | 改修 | 436.5 | 104.9 | 45,789 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 仁瀬浄化センター | 改修 | 231.21 | 104.9 | 24,254 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 城浄化センター | 改修 | 334.3 | 104.9 | 35,068 | 電気設備・機械設備単価を使用 |

第6章 今後のフォローアップ

第1節 総合管理計画の進捗管理

公共施設等総合管理計画において設定した基本方針に沿って、進捗管理を毎年行います。

基本方針：適正かつ柔軟な施設マネジメント

**基本目標：① 今後40年間で公共施設の総延床面積を約30%削減
② 公共施設の利活用推進**

(1) 面積削減目標に対する進捗

平成28年度末時点 総延床面積74,521㎡ (公共施設等総合管理計画 第一版策定時)

これまで、面積削減に向けて用途廃止等に積極的に取り組んできましたが、公営住宅の新規整備、寄付受、台帳精査に伴う調査判明、役場庁舎建替えにおいてはバリアフリー対応により面積が増加し、計画策定前よりも面積が増加する結果となっています。

令和元年度末時点 総延床面積76,201㎡

主な面積削減実績

| | |
|---------------------------|--------|
| 西原字公民館 (R1) | ▲180 |
| 中央公民館 (解体、旧議会棟に機能移転) (R1) | ▲135 |
| 和泊町農薬廃液処理施設 譲渡 (R1) | ▲30 |
| 和泊中学校便所解体 (R1) | ▲5 |
| 国頭分団車庫 字に譲渡 (R1) | ▲32 |
| 和泊港旧待合所 (R1) | ▲600 |
| 和泊町役場 (H30) | ▲2,079 |

主な面積増加実績

| | |
|---------------|-------|
| 和泊町新庁舎 (H30) | 3,256 |
| 公営住宅 新規整備 | 1,028 |
| タラソの風公園整備 | 19 |
| 寄付受・調査判明等による増 | 372 |

今回、今後の方向性を、「廃止」・「所有権移転」と設定した施設が、実際に方針に沿って実施された場合、1,218㎡の面積削減につながりますが、面積削減目標に対しては更なる努力が必要です。

| | |
|------------------|------|
| 国頭研修会館一部解体 | ▲167 |
| (旧)フラワー選花場 譲渡 | ▲699 |
| (旧)沖永良部花きセンター 譲渡 | ▲352 |

総延床面積74,521㎡に対して30%削減する場合、22,356㎡分の面積削減に取り組む必要があります。40年間の長期での目標設定なので、平均すると毎年560㎡の削減に取り組むことになります。

(2) 公共施設の利活用推進

これまでも、普通財産の貸付（旧フラワー選花場、旧沖永良部花きセンター）、行政財産の用途変更による利活用等を進めてきました。

今後も、低利用の施設を中心に用途廃止を進め、売却、譲渡、用途変更等利活用を進めていきます。

公共施設等総合管理計画（平成28年度 第一版）策定後に実施された利活用推進事例

| | |
|---------|--|
| 【転用利用】 | 旧給食センターを農産物加工センターへ用途変更して活用 旧教員住宅・公営住宅等を定住促進住宅として活用 中央公民館を旧議会棟へ移転 |
| 【譲渡】 | 農薬廃液処理施設の譲渡 |
| 【跡地利活用】 | 和泊港旧待合所跡地を駐車場として整備 中央公民館跡地を、図書館駐車場として整備 旧西原字公民館跡地を駐車場として整備 |

また、現在稼働している施設の利活用推進という面においては、これまでに、指定管理者制度を導入するなどの取り組みにより、民間の能力を活用し、多様化する住民ニーズへの対応、業務の効率化、住民サービスの向上を図ってきました。

| | |
|----------|--|
| 【指定管理委託】 | タラソおきのえらぶ等 |
| 【利便性の向上】 | 庁舎、公園トイレ等、各種施設のバリアフリー対応の推進 小中学校への、空調の導入 |
| 【情報発信】 | 公共施設情報の発信を行い、利用者への情報提供を実施 |

(3) 各実施方針の状況

管理計画で定めた各方針に対する、実施状況をまとめました。

| 総合管理計画における実施方針 | |
|------------------------------|---|
| 点検・診断等 | 平成 29 年度は、90 施設 160 棟の劣化度調査を実施しました。 今後も、頻度を決めて、定期的な点検・診断を実施し、危険箇所等の早期発見につなげます。 |
| 維持管理・修繕・更新等 | 平成 29 年度、本計画により、施設の重要度や劣化状況に応じて長期的な視点で優先度をつけ、今後 10 年間の計画を策定しました。 |
| 安全確保 | 平成 29 年度に、劣化調査を行い、危険性のある施設を把握、老朽化し危険箇所 の見られる施設の解体を実施することができました。今後も、早急に安全対策を 実施し、利用者の安全確保を図ります。 |
| 耐震化 | 対策を順次進めています。 上下水道施設の耐震化、機能強化等をすすめています。 図書館、こども園など毎日多くの住民が利用する施設で未対策の施設がありますが、 今後の方針が検討されていないものもありますので、検討をすすめていきま す。 |
| PPP/PFI 活用 | PFI 的手法 BTO 方式により、平成 30 年度に新庁舎建設が完了しました。 タラソおきのえらぶのトレーニング施設について、直営から指定管理委託に変更 し民間活力を利用し、運営の効率化、サービス向上を推進しています。 |
| 長寿命化 | 平成 29 年度、施設の劣化調査を実施し、現状把握、今後の方向性の中で、長寿 命化対応していく施設等を整理しています。 上下水道施設の機能強化、長寿命化対策事業を実施中です。 公営住宅等について、長寿命化対策を推進しています。 |
| 統合・廃止 | 老朽化が進行している低利用施設について取り壊しを実施しました。 庁舎建設に伴い、周辺施設の集約化を実施しました。 庁舎整備に伴い空いた周辺施設を利活用し、公民館機能を移転し、旧公民館を解 体しました。 |
| 隣接・近隣市町村との 広域的な連携 | クリーンセンター、火葬場、消防業務以外にも、隣接する知名町と共同整備でき るものについて検討していきます。 |
| ユニバーサルデザイ ン | 庁舎建設に伴い庁舎のバリアフリー化を行いました。また公園トイレ等のバリア フリー改修を行いました。 |
| フォローアップ | 公共施設等総合管理計画における基本方針・実施方針、個別施設計画における実 施計画について、毎年進捗管理を行っています。 |
| 行政サービスの水準 等 | サービス利用者等の意見も取り入れながら、サービスの向上を図っています。 利用者の声を取り入れ、図書館駐車場の整備等を実施し利用者の利便性向上につ ながりました。 |

(4) その他

- 更新費用算定について

今回、概算での試算を実施していますが、直近10年程度の類似施設の工事实績が得られる場合には、自団体の実態に即した単価を使用するなど単価の見直しを随時行っていくことが望ましいです。今後、新築や改修を行う際に、各部位についての詳細情報・価格情報について固定資産台帳・工事履歴に登録し管理していくことで、より正確な予測を行えるようにしていきます。

和泊町公共施設等個別施設計画

平成30年3月発行

平成31年3月改訂

令和2年3月改訂

編集：和泊町 総務課

〒891-9192 鹿児島県大島郡和泊町和泊 10 番地

卷末資料

01施設一覧

02劣化度分類結果

03有効利用度分類結果

04総合評価

05今後の方針及びスケジュール (10年分)

| | | | | |
|-----|---|-----------|---|--------------------|
| I | 高 | 0%~30%未満 | A | 【1】建替え・長寿命化 |
| II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| III | 低 | 70%以上 | C | 【3】取り壊し・除却 |
| IV | | | | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| | | | | 【5】民営化・売却・用途変更 |

施設評価結果

| 施設名称 | 用途分類 | 一次評価 | 二次評価（施設の有効利用度） | | | 総合評価 |
|------------------|---------|-----------|----------------|-----------|-------|--------------------|
| | | 施設劣化度（平均） | 重要度 | 稼働率 | 有効利用度 | |
| 中央公民館（旧議会棟） | 市民文化系施設 | III | 高 | 30%~70%未満 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| 和泊町谷山生活館 | 市民文化系施設 | III | 中 | 30%~70%未満 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| 国頭研修会館 | 市民文化系施設 | III | 中 | 30%~70%未満 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| 和泊町研修センター | 市民文化系施設 | III | 中 | 30%~70%未満 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| 和泊町子どもと老人の家 | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町畦布生活館 | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 西原字公民館 | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町玉城生活館 | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 内城集落農事集会施設 | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 永嶺コミュニティセンター | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 後蘭コミュニティセンター | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和字公民館 | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町伊延公民館 | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 根折字公民館 | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 大城研修会館 | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町古里生活館 | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町瀬名多目的集会施設 | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 仁志生活改善センター | 市民文化系施設 | II | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町防災拠点施設「やすらぎ館」 | 市民文化系施設 | I | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 出花字コミュニティセンター | 市民文化系施設 | I | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 皆川字公民館 | 市民文化系施設 | I | 中 | 30%~70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |

| | | | | |
|---|---|-----------|---|--------------------|
| Ⅱ | 中 | 30%～70%未満 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| Ⅲ | 低 | 70%以上 | C | 【3】取り壊し・除却 |
| Ⅳ | | | | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| | | | | 【5】民営化・売却・用途変更 |

施設評価結果

| 施設名称 | 用途分類 | 一次評価 | 二次評価（施設の有効利用度） | | | 総合評価 |
|--------------------|------------------|-----------|----------------|-----------|-------|--------------------|
| | | 施設劣化度（平均） | 重要度 | 稼働率 | 有効利用度 | |
| えらぶ長浜館 | 市民文化系施設 | Ⅰ | 中 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 喜美留字公民館 | 市民文化系施設 | Ⅰ | 中 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町立図書館 | 社会教育系施設 | Ⅳ | 高 | 70%以上 | A | 【1】建替え・長寿命化 |
| 和泊町歴史民俗資料館 | 社会教育系施設 | Ⅱ | 中 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 西郷南洲記念館 | 社会教育系施設 | Ⅰ | 中 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町弓道場 | スポーツ・レクリエーション系施設 | Ⅳ | 中 | 70%以上 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| 町民運動広場 | スポーツ・レクリエーション系施設 | Ⅱ | 高 | 70%以上 | A | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町柔剣道場 | スポーツ・レクリエーション系施設 | Ⅱ | 中 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和心館（相撲道場） | スポーツ・レクリエーション系施設 | Ⅱ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町ふれあい交流施設(笠石ドーム) | スポーツ・レクリエーション系施設 | Ⅱ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| タラソおきのえらぶ | スポーツ・レクリエーション系施設 | Ⅰ | 中 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町農産物加工センター | 産業系施設 | Ⅳ | 中 | 70%以上 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| 和泊町有機物供給センター | 産業系施設 | Ⅳ | 低 | 0%～30%未満 | C | 【3】取り壊し・除却 |
| 和泊町実験農場 | 産業系施設 | Ⅱ | 中 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 堆肥施設 | 産業系施設 | Ⅱ | 中 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 球根貯蔵施設 | 産業系施設 | Ⅱ | 中 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 種苗供給センター | 産業系施設 | Ⅱ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| トラックタンカー格納庫 | 産業系施設 | Ⅱ | 低 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 機械格納庫 | 産業系施設 | Ⅱ | 低 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |

| | | | | |
|---|---|-----------|---|--------------------|
| Ⅱ | 中 | 30%～70%未満 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| Ⅲ | 低 | 70%以上 | C | 【3】取り壊し・除却 |
| Ⅳ | | | | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| | | | | 【5】民営化・売却・用途変更 |

施設評価結果

| 施設名称 | 用途分類 | 一次評価 | 二次評価（施設の有効利用度） | | | 総合評価 |
|----------------------|---------|-----------|----------------|-----------|-------|--------------------|
| | | 施設劣化度（平均） | 重要度 | 稼働率 | 有効利用度 | |
| 製氷施設 | 産業系施設 | Ⅰ | 中 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 増殖施設 | 産業系施設 | Ⅱ | 低 | 0%～30%未満 | C | 【5】民営化・売却・用途変更 |
| 国頭こども園 | 子育て支援施設 | Ⅲ | 中 | 70%以上 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| 大城こども園 | 子育て支援施設 | Ⅲ | 中 | 70%以上 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| 内城こども園 | 子育て支援施設 | Ⅲ | 中 | 70%以上 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| 和泊幼稚園 | 子育て支援施設 | Ⅲ | 中 | 70%以上 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| 和泊町老人いこいの家 | 保健・福祉施設 | Ⅱ | 低 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 旧和泊町保健センター | 保健・福祉施設 | Ⅰ | 中 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| スマイル館にやーとぅ | 保健・福祉施設 | Ⅰ | 中 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| ふれあい館ガジュマル | 保健・福祉施設 | Ⅰ | 中 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 地域交流施設 どうくさ館 | 保健・福祉施設 | Ⅰ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 旧土木課棟 | 行政系施設 | Ⅲ | 低 | 0%～30%未満 | C | 【3】取り壊し・除却 |
| 消防団拠点施設（防災センター） | 行政系施設 | Ⅱ | 中 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 第5分団車庫（大城） | 行政系施設 | Ⅱ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町役場庁舎 | 行政系施設 | Ⅰ | 高 | 70%以上 | A | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊町有線テレビスタジオ | 行政系施設 | Ⅰ | 高 | 70%以上 | A | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 第1分団車庫（喜美留） | 行政系施設 | Ⅰ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 第2分団車庫（畦布） | 行政系施設 | Ⅰ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 第3分団車庫（国頭） | 行政系施設 | Ⅰ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 第4分団車庫（玉城） | 行政系施設 | Ⅰ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 第6分団車庫（永嶺） | 行政系施設 | Ⅰ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 石川公園トイレ | その他 | Ⅲ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| 笠石海浜公園トイレ（バースハウス、ゆり） | その他 | Ⅲ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |

| | | | | |
|---|---|-----------|---|--------------------|
| Ⅱ | 中 | 30%～70%未満 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| Ⅲ | 低 | 70%以上 | C | 【3】取り壊し・除却 |
| Ⅳ | | | | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| | | | | 【5】民営化・売却・用途変更 |

施設評価結果

| 施設名称 | 用途分類 | 一次評価 | 二次評価（施設の有効利用度） | | | 総合評価 |
|----------------|--------|-----------|----------------|-----------|-------|--------------------|
| | | 施設劣化度（平均） | 重要度 | 稼働率 | 有効利用度 | |
| 伊延公園トイレ | その他 | Ⅲ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【2】機能移転（出）・長寿命化 |
| (旧)沖永良部花きセンター | その他 | Ⅳ | 低 | 0%～30%未満 | C | 【3】取り壊し・除却 |
| 旧白百合土地改良区事務所 | その他 | Ⅲ | 低 | 0%～30%未満 | C | 【3】取り壊し・除却 |
| しま暮らし体験住宅1号棟 | その他 | Ⅱ | 中 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| しま暮らし体験住宅2・3号棟 | その他 | Ⅱ | 中 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| しま暮らし体験住宅4号棟 | その他 | Ⅱ | 中 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 西郷南洲記念館前公園トイレ | その他 | Ⅱ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 南洲神社トイレ | その他 | Ⅱ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| あしきぶ公園トイレ | その他 | Ⅱ | 中 | 0%～30%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 風力発電施設 | その他 | Ⅰ | 中 | 70%以上 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| (旧)フラワー選花場 | その他 | Ⅱ | 低 | 0%～30%未満 | C | 【5】民営化・売却・用途変更 |
| 和泊第1中継ポンプ場 | 上下水道施設 | Ⅱ | 高 | 70%以上 | A | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊第2中継ポンプ場 | 上下水道施設 | Ⅱ | 高 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 国頭浄化センター | 上下水道施設 | Ⅱ | 高 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 資源循環施設 | 上下水道施設 | Ⅰ | 高 | 70%以上 | A | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 北部浄化センター | 上下水道施設 | Ⅰ | 高 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 仁嶺浄化センター | 上下水道施設 | Ⅰ | 高 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 和泊浄化センター | 上下水道施設 | Ⅰ | 高 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 城浄化センター | 上下水道施設 | Ⅰ | 高 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |
| 中部浄化センター | 上下水道施設 | Ⅰ | 高 | 30%～70%未満 | B | 【4】複合化・統廃合（集約）現状維持 |

劣化度分類結果

(低) ←

施設の劣化度

⇒ (高) 劣化が進行している

| I | II | III | IV |
|------------------|--------------------|------------------------|----------------|
| 旧和泊町保健センター | (旧)フラワー選花場 | 和泊幼稚園 | 和泊町弓道場 ◆ |
| 和泊浄化センター | 和泊町瀬名多目的集会施設 | 大城こども園 ◆ | (旧)沖永良部花きセンター◆ |
| 地域交流施設 どうくさ館 | トラックタンカー格納庫 | 内城こども園 ◆ | 和泊町立図書館 ◆ |
| 喜美留字公民館 | 機械格納庫 | 国頭こども園 ◆ | 和泊町有機物供給センター◆ |
| 出花字コミュニティセンター | 大城研修会館 | 和泊町研修センター | 和泊町農産物加工センター◆ |
| 北部浄化センター | 増殖施設 | 和泊町谷山生活館 ◆ | |
| 皆川字公民館 | 種苗供給センター | 国頭研修会館 ◆ | |
| 城浄化センター | 内城集落農事集会施設 | 旧白百合土地改良区事務所 | |
| 中部浄化センター | 和泊町実験農場 | 旧土木課棟 | |
| 仁嶺浄化センター | 球根貯蔵施設 | 中央公民館 (旧議会棟) | |
| 和泊町有線テレビスタジオ | 西原字公民館 | 石川公園トイレ | |
| ふれあい館ガジュマル | 堆肥施設 | 笠石海浜公園トイレ(パースハウス、ゆりの塔) | |
| 第2分団車庫 (畦布) | 消防団拠点施設(防災センター) | 伊延公園トイレ | |
| タラソおきのえらぶ | 和心館 (相撲道場) | | |
| 資源循環施設 | 和泊町玉城生活館 | | |
| えらぶ長浜館 | 和泊町畦布生活館 | | |
| スマイル館にやーとう | 和泊町歴史民俗資料館 | | |
| 西郷南洲記念館 | 和泊町柔剣道場 | | |
| 第1分団車庫 (喜美留) | 和字公民館 | | |
| 製氷施設 | 和泊町伊延公民館 | | |
| 第6分団車庫 (永嶺) | 国頭浄化センター | | |
| 第4分団車庫 (玉城) | 和泊町古里生活館 | | |
| 和泊町防災拠点施設「やすらぎ館」 | 仁志生活改善センター | | |
| 風力発電施設 | 和泊第1中継ポンプ場 | | |
| 第3分団車庫 (国頭) | 根折字公民館 | | |
| 和泊町役場庁舎 | 第5分団車庫 (大城) | | |
| | 和泊第2中継ポンプ場 | | |
| | 永嶺コミュニティセンター | | |
| | 後蘭コミュニティセンター | | |
| | 和泊町ふれあい交流施設(笠石ドーム) | | |
| | 町民運動広場 | | |
| | しま暮らし体験住宅1号棟 | | |
| | しま暮らし体験住宅2・3号棟 | | |
| | しま暮らし体験住宅4号棟 | | |
| | 和泊町子どもと老人の家 ◆ | | |
| | 和泊町老人いこいの家 ◆ | | |
| | 西郷南洲記念館前公園トイレ | | |
| | あしきぶ公園トイレ | | |
| | 南洲神社トイレ | | |

有効利用度分類結果

| | | | | 稼働率 | | |
|---|--|--|---|--|------------------------------------|-------|
| | | | | 0%~30%未満 | 30%~70%未満 | 70%以上 |
| 高 | | 和泊第2中継ポンプ場 北部浄化センター 仁嶺浄化センター 和泊浄化センター | 国頭浄化センター 城浄化センター 中部浄化センター 中央公民館（旧議会棟） | 和泊町役場庁舎 和泊町有線テレビスタジオ 和泊町立図書館 町民運動広場 資源循環施設 和泊第1中継ポンプ場 | | |
| 中 | 和心館（相撲道場） 和泊町ふれあい交流施設(笠石ドーム) 種苗供給センター 地域交流施設 どうくさ館 第1分団車庫（喜美留） 第2分団車庫（畦布） 第3分団車庫（国頭） 第4分団車庫（玉城） 第5分団車庫（大城） 第6分団車庫（永嶺） 石川公園トイレ 笠石海浜公園トイレ(バスハウス、ゆりの塔) 西郷南洲記念館前公園トイレ 南洲神社トイレ 伊延公園トイレ あしきぶ公園トイレ | 和泊町防災拠点施設「やすらぎ館」 和泊町子どもと老人の家 出花字コミュニティセンター 和泊町畦布生活館 西原字公民館 和泊町玉城生活館 皆川字公民館 内城集落農事集会施設 永嶺コミュニティセンター 和泊町谷山生活館 後蘭コミュニティセンター スマイル館にやーとう 球根貯蔵施設 | えらぶ長浜館 和字公民館 喜美留字公民館 和泊町伊延公民館 国頭研修会館 根折字公民館 大城研修会館 和泊町古里生活館 和泊町瀬名多目的集会施設 仁志生活改善センター 和泊町研修センター ふれあい館ガジュマル 製氷施設 | 和泊町歴史民俗資料館 西郷南洲記念館 和泊町柔剣道場 和泊町弓道場 タラソおきのえらぶ 和泊町農産物加工センター 和泊町実験農場 堆肥施設 国頭こども園 大城こども園 内城こども園 和泊幼稚園 旧和泊町保健センター 消防団拠点施設（防災センター） 風力発電施設 しま暮らし体験住宅1号棟 しま暮らし体験住宅2・3号棟 しま暮らし体験住宅4号棟 | | |
| | 低 | (旧)フラワー選花場 (旧)沖永良部花きセンター 増殖施設 和泊町有機物供給センター 旧白百合土地改良区事務所 旧土木課棟 | | | トラックタンカー格納庫 機械格納庫 和泊町老人いこいの家 | |

総合評価結果

| | I | II | III | IV |
|---|--|---|---|-------------------------------|
| A | 和泊町有線テレビスタジオ 資源循環施設 和泊町役場庁舎 | 町民運動広場 和泊第1中継ポンプ場 | | 和泊町立図書館 |
| B | 喜美留字公民館 出花字コミュニティセンター 皆川字公民館 和泊町防災拠点施設「やすらぎ館」 えらぶ長浜館 西郷南洲記念館 タラソおきのえらぶ 製氷施設 ふれあい館ガジュマル スマイル館にゃーとう 地域交流施設 どうくさ館 旧和泊町保健センター 第1分団車庫（喜美留） 第2分団車庫（畦布） 第3分団車庫（国頭） 第4分団車庫（玉城） 第6分団車庫（永嶺） 風力発電施設 和泊浄化センター 北部浄化センター 中部浄化センター 仁嶺浄化センター 城浄化センター 国頭浄化センター | 和字公民館 和泊町伊延公民館 和泊町畦布生活館 西原字公民館 根折字公民館 和泊町玉城生活館 大城研修会館 和泊町古里生活館 内城集落農事集会施設 和泊町瀬名多目的集会施設 永嶺コミュニティセンター 仁志生活改善センター 後蘭コミュニティセンター 和泊町子どもと老人の家 和泊町歴史民俗資料館 和泊町柔剣道場 和心館（相撲道場） 和泊町ふれあい交流施設(笠石ドーム) 和泊町実験農場 球根貯蔵施設 種苗供給センター 堆肥施設 トラックタンカー格納庫 機械格納庫 和泊町老人いこいの家 しま暮らし体験住宅1号棟 しま暮らし体験住宅2・3号棟 しま暮らし体験住宅4号棟 消防団拠点施設（防災センター） 第5分団車庫（大城） 和泊第2中継ポンプ場 あしきぶ公園トイレ 西郷南洲記念館前公園トイレ 南洲神社トイレ | 中央公民館（旧議会棟） 国頭研修会館 和泊町谷山生活館 和泊町研修センター 国頭こども園 大城こども園 内城こども園 和泊幼稚園 石川公園トイレ 笠石海浜公園トイレ(バースハウス、ゆりの塔) 伊延公園トイレ | 和泊町弓道場 和泊町農産物加工センター |
| C | | 増殖施設 (旧)フラワー選花場 | 旧白百合土地改良区事務所 旧土木課棟 | 和泊町有機物供給センター (旧)沖永良部花きセンター |

| 分類 | 施設名称 | 今後の方針 | スケジュール | | | | | | | | | 計費用 方針 | 対象面積 (㎡) | 単価 (千円/㎡) | 必要金額 (千円) | 備考 |
|-----------------|-----------------------|--------------------|-------------|--------|------------|------|----|------------------|----|----|----|-----------|-------------|--------------|--------------|----------------|
| | | | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8 | | | | | |
| 市民文化系施設 | 中央公民館（旧議会棟） | 現状維持 | | 部分改修 | | | | | | | | 改修 | 428 | 10 | 4,428 | 改修して中央公民館として利用 |
| 市民文化系施設 | 中央公民館（旧中央公民館） | 機能移転及び取壊し | 機能移転 | 取壊し | | | | | | | | 解体 | 563 | 35 | 19,507 | 旧議会棟へ機能移転 |
| 市民文化系施設 | 国頭研修会館 | 一部取壊し、必要な改修工事 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | 改修 | 508.4 | 250 | 127,100 | |
| 市民文化系施設 | 和泊町谷山生活館 | 必要な改修工事 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | 改修 | 132 | 250 | 33,000 | |
| 市民文化系施設 | 西原字公民館 | 現状維持 | | 一部取壊し | | | | | | | | 解体 | 180 | 30 | 5,398 | 旧公民館部分（180㎡）解体 |
| 市民文化系施設 | 大城研修会館 | 必要な改修工事 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | 改修 | 250.18 | 250 | 62,545 | |
| 市民文化系施設 | 内城集落農事集会施設 | 必要な改修工事 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | 改修 | 194 | 250 | 48,500 | |
| 市民文化系施設 | 和泊町瀧名多目的集会施設 | 必要な改修工事 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | 改修 | 127.53 | 250 | 31,883 | |
| 市民文化系施設 | 和泊町子どもと老人の家 | 必要な改修工事 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | 改修 | 239.85 | 250 | 59,963 | |
| 社会教育系施設 | 和泊町立図書館 | 機能移転・複合化または必要な改修工事 | | 移転 | 複合化の検討 | | | 必要な改修工事 | | | | 改修 | 687.7 | 250 | 171,925 | または複合化・移転 |
| スポーツ・レクリエーション施設 | 町民運動広場 | 必要な改修工事 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | 改修 | 47.38 | 200 | 9,476 | |
| 産業系施設 | 和泊町有機物供給センター | 建替え | | | | | | 下水道広域化推進総合事業等で建設 | | | | 建替 | 153 | 400 | 61,200 | |
| 産業系施設 | 増殖施設 | 統廃合の検討 | | | 利用者との協議 | | | 必要な改修工事 | | | | 改修 | 790 | 250 | 197,500 | |
| 産業系施設 | 種苗供給センター | 統廃合の検討 | 統廃合の検討 | | 必要な改修工事の検討 | | | | | | | 改修 | 200 | 250 | 50,000 | または統廃合 |
| 子育て支援施設 | 大城こども園 | 現状維持 | | | | | | 統合集約及び必要な改修工事 | | | | 改修 | 619 | 170 | 105,230 | |
| 子育て支援施設 | 内城こども園 | 現状維持 | | | | | | 統合集約及び必要な改修工事 | | | | 改修 | 479 | 170 | 81,430 | |
| 子育て支援施設 | 国頭こども園 | 現状維持 | | | | | | 統合集約及び必要な改修工事 | | | | 改修 | 603 | 170 | 102,510 | |
| 子育て支援施設 | 和泊幼稚園 | 現状維持 | | | | | | 統合集約及び必要な改修工事 | | | | 改修 | 542 | 170 | 92,140 | |
| 保健・福祉施設 | 地域交流施設 どうくさ館 | 建替え | | | | 建替え | | | | | | 建替 | 218.46 | 360 | 78,646 | |
| 行政系施設 | 旧土木課棟 | 取壊し | | | 取壊し | | | | | | | 解体 | 264 | 35 | 9,240 | |
| 行政系施設 | 消防団拠点施設（防災センター） | 建替え | | | 建替え | | | | | | | 建替 | 420 | 400 | 168,000 | |
| 行政系施設 | 和泊町有線テレビスタジオ | 現状維持 | | | 特殊設備更新 | | | | | | | 改修 | - | - | 58,184 | ヘッドエンド設備更新 |
| 行政系施設 | 和泊港旧待合所 | 取壊し | | | 取壊し | | | | | | | 解体 | 600 | 35 | 20,971 | |
| その他 | 伊延公園トイレ | 必要な改修工事 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | 改修 | 28.26 | 200 | 5,652 | |
| その他 | 石川公園トイレ | 現状維持 | | | 改修 | | | | | | | 改修 | 18.95 | 85 | 1,620 | |
| その他 | 笠石海浜公園トイレ（バスハウス、ゆりの塔） | 現状維持 | | | 改修 | | | | | | | 改修 | 265.97 | 13 | 3,445 | |
| その他 | 旧白百合土地改良区事務所 | 必要な改修工事及び機能移転 | | | 必要な改修工事 | 機能移転 | | | | | | 改修 | 180 | 200 | 36,000 | |
| その他 | 西郷南洲記念館前公園トイレ | 現状維持 | | | 改修 | | | | | | | 改修 | 14 | 73 | 1,026 | |
| その他 | 南洲神社トイレ | 現状維持 | | | 改修 | | | | | | | 改修 | 16.8 | 62 | 1,036 | |
| その他 | あしきふ公園トイレ | 必要な改修工事 | | | 必要な改修工事 | | | | | | | 改修 | 12.6 | 200 | 2,520 | |
| その他 | しま暮らし体験住宅1号棟 | 現状維持 | | | | | | 必要な改修工事 | | | | 改修 | 50 | 170 | 8,500 | 住宅用の単価を使用 |
| その他 | しま暮らし体験住宅2・3号棟 | 現状維持 | | | | | | 必要な改修工事 | | | | 改修 | 99.9 | 170 | 16,983 | 住宅用の単価を使用 |
| その他 | しま暮らし体験住宅4号棟 | 現状維持 | | | | | | 必要な改修工事 | | | | 改修 | 60 | 170 | 10,200 | 住宅用の単価を使用 |
| 上下水道施設 | 和泊浄化センター | 統廃合、耐震化、長寿命化 | 統廃合事業・耐震化事業 | 長寿命化事業 | | | | | | | | 改修 | 1,904.82 | 104.9 | 199,816 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 和泊第1中継ポンプ場 | 統廃合、耐震化、長寿命化 | 統廃合事業・耐震化事業 | 長寿命化事業 | | | | | | | | 改修 | 562.99 | 104.9 | 59,058 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 和泊第2中継ポンプ場 | 統廃合、耐震化、長寿命化 | 統廃合事業・耐震化事業 | 長寿命化事業 | | | | | | | | 改修 | 330.02 | 104.9 | 34,619 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 中部浄化センター | 統廃合、長寿命化 | 統廃合事業 | 長寿命化事業 | | | | | | | | 改修 | 306.00 | 104.9 | 32,099 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 国頭浄化センター | 機能強化対策 | 機能強化対策 | | | | | | | | | 改修 | 1182.8 | 104.9 | 124,076 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 北部浄化センター | 機能強化対策 | 機能強化対策 | | | | | | | | | 改修 | 436.5 | 104.9 | 45,789 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 仁瀬浄化センター | 機能強化対策 | | | 機能強化対策事業 | | | | | | | 改修 | 231.21 | 104.9 | 24,254 | 電気設備・機械設備単価を使用 |
| 上下水道施設 | 城浄化センター | 機能強化対策 | | | 機能強化対策事業 | | | | | | | 改修 | 334.3 | 104.9 | 35,068 | 電気設備・機械設備単価を使用 |